

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 I 等しく認めあう ―男女共同参画の意識づくり―							
1 固定的な意識の是正							
(1) 性別による役割分担意識・慣習の是正	① 固定的性別役割分担意識に基づく意識・慣習の是正	1 男女平等に関する啓発活動の推進	男女共同参画センター	実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画だよりを発行し、男女共同参画に関する情報提供を行った。〔「やちよべあ」発行回数〕H28年度3回、29年度1回、30年度4回、R元年度2回、2年度3回 市ホームページや広報やちよを活用して、男女共同参画に関する情報を提供すると共に、新たな取組みとして市民意識調査の結果を親しみやすい4コマまんがで紹介した。 図書館と連携して、ジェンダー平等に関する展示等を行った。 若い世代への啓発について検討するため、村上中学校の協力を得て、生徒たちに「大切なあなた 大切なわたし」(岐阜市発行)から抜粋したチラシ380部を配布し、アンケートを行った。 主催講座参加者や利用登録団体の代表者に、男女共同参画に関する統計資料などを配布し、これに基づいた講話を行った。 	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉館や利用者数の制限などが発生し、例年どおり講座を開催することができなかった。男女共同参画だよりやチラシの配布もできなくなったが、新しい啓発事業を企画することで、性別による役割分担意識や慣習の是正に向けた取組みを進めることができた。	積極的な推進
		1◆1 (1) 視聴覚教材の貸し出し	生涯学習振興課	実施	視聴覚教材センターにおいて、男女共同参画に関わる教材の貸し出しを行っているが、平成28年度から利用実績はない。	男女共同参画についての情報提供ができるよう、貸出用の教材を保有しているが、内容が昨今の社会情勢に合わなくなってきていることから、男女共同参画センターと連携を図りながら、教材の見直しや周知方法について検討する必要がある。	現状維持
		1◆2 (2) 図書資料等の貸し出し	(図書館) 生涯学習	実施	男女共同参画に関する資料を購入し利用者に提供した。〔購入冊数〕H28年度6冊、29年度13冊、30年度29冊、R元年度28冊、2年度33冊	男女共同参画に関する資料を購入し、提供することで、男女平等意識の向上を図った。	現状維持
識(2) 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	① 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	2 人権尊重に関する啓発活動の実施	生涯学習振興課	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 県が主催する「社会人権教育地区別研修会」への市民の参加周知・募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は中止になった。協力：葛南地区5市(八千代市、浦安市、市川市、船橋市、習志野市)〔申込者数〕H28年度35人、29年度4人、30年度16人、R元年度11人 視聴覚教材センターにおいて人権教育教材貸出業務を行ったが、実績はなかった。 	人権教育教材貸出の周知に取組む必要がある。	未実施・休止・廃止
			男女共同参画センター	実施	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館で啓発パネル「LGBTの方々を抱える社会課題」を展示した。 令和元年度に実施した、市で取り扱う届出書等の性別記載欄の有無についての調査を発展させ、削除や変更について調査した。 広報やちよや市ホームページに啓発記事を掲載した。 主事研修で多様な性への理解についての研修を行った。 	性の多様性について理解を進める取組みを積極的に実施できた。届出書等の性別記載欄については、調査を継続して行うことで、廃止や変更を働きかけることができた。	積極的な推進

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		2◆1 (1) 人権啓発活動活性化事業	健康福祉課	未実施	「人権落語・座談会『落語“RAKUGO”で世界にひろげよう～やさしい日本語やさしい人権』」を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に延期することとなった。 〔実績〕H28年度参加児童26人、29年度船橋市で開催、30年度参加児童48人、R元年度船橋市で開催、R2年度翌年に延期		未実施・休止・廃止
		3◆1 相談の場の提供、相談の実施 (1) 人権相談	健康福祉課	実施	船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員による人権相談を月1回実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で12月を除き実施できなかった。 〔相談件数〕H28年度7件、29年度4件、30年度8件、R元年度6件、2年度0件	12月1回のみ開催となったため、目的を達成することができなかった。	取り組みが十分でない
		3◆2 (2) 女性、こころの悩み電話相談	男女共同参画センター	実施	悩みを抱える女性の話に専門の相談員が傾聴することで、精神的な支援を行った。内容によっては専門機関を紹介した。 〔相談件数〕H28年度706件、29年度689件、30年度669件、R元年度657件、2年度456件(相談日を週3回から2回に変更)	リピーターからの相談が多い状況が続いているが、例年に比べ新規相談者が増えた。平成9年7月から20年以上、ほぼ同じ形で電話相談を続けているが、新型コロナウイルス感染症の拡大など、当時とは社会状況が大きく変わっている。傾聴だけではなく、相談を具体的な解決に繋げていけるよう、対処方法を見直す必要がある。	現状維持
た(3) 性別による役割分担意識の調査・研究	情報提供 ①意識調査等関連情報の収集・整理・	4 男女共同参画に関する調査の実施・情報提供	男女共同参画センター	実施	・計画策定年度だったことから調査は実施しなかったが、令和元年度に実施した市民アンケートの結果を4コマまんがで紹介して周知を図った。(全5回) ・国や県の白書等の活用や「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」の資料、他市で発行するパンフレット等の資料を収集して、市民への情報提供に努めた。	八千代市における市民の男女共同参画に関する意識、実態について把握した結果を市民に分かりやすく提供することで、男女共同参画施策の推進を図った。また、コロナ禍における女性への影響について把握し、講座や啓発資料に反映させることができた。	積極的な推進

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 I 等しく認めあう ―男女平等の意識づくり―							
2 男女の人権擁護							
識(1)ドメスティックバイオレンスの発生を防ぐ意識づくり	①暴力を許さない意識づくりと相談体制の整備	5 暴力行為を許さない意識づくり	男女共同参画センター	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性、こころの悩み電話相談」にDVに関する相談があった場合、福祉総合相談室や県の女性サポートセンター等の専門機関を案内した。〔DVに関する相談件数〕H28年度9件、29年度1件、30年度1件、R元年度5件、2年度5件 ・「八千代市DV防止基本計画」を第2次やちよ男女共同参画プランに位置付けた。また、啓発事業として、ニュースクリップや行政モニター、ショッピングセンターのフードコート電光掲示や、オリジナルのデートDVのミニチラシ・ポスターや多言語対応のポスターの作成、ふくろうFMへの情報提供を行った。 	新型コロナウイルス感染症の影響により、DVの件相談数が増加していることから、国が行っている「DV相談プラス」について様々なツールを活用して啓発することができた。	積極的な推進
		6 相談の実施	健康福祉課(福祉総合相談室)	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制について、令和元年度から支援調整会議(ネットワーク会議)を実施。年1~2回、DVをテーマに関係機関(福祉総合相談室、生活支援課、障害者支援課、長寿支援課大和田地域包括支援センター、子ども福祉課、子ども相談センター、子ども保育課、戸籍住民課、学務課、指導課、八千代市社会福祉協議会)が集まり、情報提供や意見交換を行った。顔の見える関係作りが進み、関係機関での連携が取りやすくなった。 ・DV被害者からの相談支援を実施し必要に応じて、警察・配偶者暴力相談支援センター・行政関係部署・各相談支援機関等と連携を図り、相談支援を実施した。〔相談件数〕H28年度30件、29年度29件、30年度49件(男性2件、女性47件)、R元年度70件(すべて女性)、2年度136件(男性1件、女性135件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者に対し、気持ちを受け止めながら必要に応じた情報提供を行うことができた。 ・加害者について被害者相談とは別の支援が必要である。 ・相談体制の充実という点では、支援調整会議(ネットワーク会議)により関係機関との連携が取りやすくなった。 	現状維持
体制整備(2)セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	①セクシュアルハラスメント防止対策	7 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実	課 観 商 光 工	実施	国及び県等から提供されたチラシ等を配架し、情報を市ホームページへ掲載した。	国や県等からの情報提供に基づき、市民等へ周知が図れた。	現状維持
			参 画 画 セ ン 同	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、資料やチラシの配布等を控え、コロナ禍で優先すべき課題に対応しなければならなかったことから、市内事業所への意識啓発に取り組むことができなかった。		未実施・休止・廃止
		7◆1 (1)市職員のハラスメントに関する相談	職員課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・管理監督者が果たすべき安全配慮義務及びハラスメント防止対策研修を実施〔参加者数〕20人 ・ハラスメントに関する相談〔件数〕7件 ・パワー・ハラスメントの防止等についての人事院規則が制定されたこと等に合わせ、パワー・ハラスメントの定義のほか、ハラスメントに関する相談窓口に関すること、相談員の役割などについて、国に準じた取扱いとなるよう「八千代市職員のハラスメント防止等に関する要領」及び「職場におけるハラスメントの防止に関する手引き」を改正した。安全衛生委員からの意見を受け、相談窓口及び手引きについて3か月ごとに庁内掲示板で周知した。 	管理監督者向けハラスメント予防に関する意識の向上を引き続き図っていく必要がある。ハラスメントに関する調査結果等を踏まえ、相談窓口の周知を徹底し、ハラスメントの相談体制の整備及び質の向上を図る。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価	
主要課題 I 等しく認めあう ―男女平等の意識づくり―								
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進								
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	① 男女共同意識の啓発	8 保育園・幼稚園・小中学校における男女平等の視点に立った保育・教育の推進	課(保育園)	実施	保育現場において男女平等の視点に立った保育の推進を図るため、園児の性別による区別をせず、ジェンダー平等となるような保育環境の整備に努め、一人ひとりの選択や適性等を生かした保育を実践した。	男女平等の視点に立った保育の推進を図るため、子どもたちが保育の場を通じて男女平等の観点を身につけられるような取組みに努めた。	現状維持	
			学務課	実施	各学校において、男女共同参画の視点に立った教育活動ができるように、学校運営について指導・助言を行った。また、校長会議や教頭会議においても指導・助言を行った。	女子の制服について、スラックス導入を検討している学校があるなど、意識が高まってきている。整理のしやすさを考慮し、書類等を男女別にすることが多いが、見直しを検討する必要がある。	現状維持	
			指導課	実施	校内活動や職業体験を通して、性別に関わらず協力し行動する意義や大切さを学ばせている。	幼稚園・保育園・小学校の発達段階に応じて、意識づくりの推進が図れた。	現状維持	
			9 人権講演・運動の支援	健康福祉課	実施	船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員が、市内小中学校の児童・生徒を対象に人権をテーマとした講演会や、「人権の花運動」としてチューリップの球根の配布・植えつけを実施した。中学校、学童保育所対象の事業及び人権作文コンテストは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 〔講演会実施回数〕○小学校/H28年度22回、29年度17回、30年度16回、R元年度18回、R2年度13回、○中学校/H28年度2回、29年度1回、30年度2回、R元年度2回、2年度0回、○学童保育所/H28年度5回、29年度1回、30年度6回、R元年度3回、2年度0回 〔「人権の花運動」実施校数〕H28年度4校、29年度4校、30年度4校、R元年度4校、2年度4校	小学校での人権教室や人権の花運動により、人権を大切にすることを育むことができた。	現状維持
			10◆1 男女平等の視点に立った保育・生徒指導のための研修の充実 (1) 保育士研修会	(保育園) 子ども保育課	実施	性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育の実践等にあたり、保育士研修会等で各保育士の工夫や改善策等について、情報交換及び情報共有することにより、相互に理解を深め、保育方法の工夫・改善に努めた。	保育士研修会等において、保育方法の工夫や改善策等の情報交換及び情報共有により、保育士相互の理解を深め、性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育の推進を図ることができた。	現状維持
			10◆2 (2) 生徒指導主任(主事)・長欠担当者研修会	指導課	実施	国・県・市の生徒指導、不登校等児童生徒の問題行動に係る施策の通知を周知徹底し、取り組んでいくために前年度と同様に、市内全小中学校を対象とした生徒指導担当者研修会を書面で開催。長欠担当者研修会(3回)を実施した。	各学校担当者に対して男女の平等の視点に立った施策等の周知徹底を図れた。効果がすぐに表れるものではないため、児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導支援が必要である。	現状維持
			10◆3 (3) 各種会議等における指導・助言・啓発	指導課	実施	不登校児童生徒対策支援教室担当者会議、小中生徒指導推進研究協議会、中高生徒指導推進研究協議会等で指導・助言を行った。	受講者が研修内容を各校で周知し、学校として一貫性のある男女平等の視点に立った指導に努め、組織的な対応ができる生徒指導の体制づくりを強化したい。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

②男女ともに主体的な選択と能力・適性をいかすことのできる教育の推進	11 小中学校担当教員の 学校人権教育研修会の実施	指導課	実施	学校人権研修会を2回実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により1回の実施となった。	各小中学校人権教育主任の人権に対する意識が高まった。	現状維持
	12 教育内容に応じた混 合名簿の活用	指導課	実施	卒業生台帳の公簿などは生年月日順とし、男女混合名簿を使っている。	今後も内容に応じて、男女混合名簿を使っ ていく。	現状維持
	13 学校における総合的 な学習の時間、キャリア 教育の充実	指導課	実施	主体的な選択と、能力・適性を生かせるよう、小学校では職業調査学習、中 学校では職業体験学習の代替えとして、職業調べやゲストティーチャーによ る講話を行った。	性別にかかわらず、自分の能力と適性を生 かせることを学ぶことができた。	現状維持
	14 進路指導担当教職員の 研修の充実	指導課	実施	性別にかかわらず、進路について子どもたちが考えられるよう、八千代市進 路連絡協議会において、進路指導担当教職員に会議の中で周知を徹底した。	性別にかかわらず、個人の希望に沿った進 路指導が実施できている。	現状維持
	15 中学校における技術 家庭科授業の男女共修の 充実	指導課	実施	男女ともに技術分野及び家庭分野を学んでいる。八千代市中学校技術家庭科 作品展を実施し、優秀な作品を展示した。	技術分野及び家庭分野を、男女性別にかか わらず学び、能力を生かすことができた。	現状維持
	16◆1 技術家庭科担当 教員研修の充実 (1) 中学校技術家庭科実 技研修会	指導課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。	WEB 等での実施など、実技研修のあり方 について考えていく必要がある。	未実施・休止・ 廃止
	16◆2 (2) 小学校家庭科実技研 修	指導課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 〔参加者数〕H28年度3人、29年度3人、30年度1人、R元年度0人、2年 度未実施。	WEB などでの実施など、実技研修のあり方 について考えていく必要がある。	未実施・休止・ 廃止
	17 小中学校における性 教育の推進	保健体育課	実施	・小学校6年生の体育科保健領域で「病気の予防」、中学校3年生の保健体育 科で「感染症の予防」として、エイズを含めた性感染症について学習する機 会を設けるとともに、学級活動や学校行事等の特別活動の中で性に関する指 導を行っている。 ・啓発活動として、国や県からのリーフレットやポスター等を各校に配布し た。これまでは、思春期保健ネットワーク会議と連携した取組みも行って いたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、市内小中学校 へ思春期保健教育教材の紹介、リーフレットの配布等を行った。	各学校における体育・保健体育及び特別活 動での指導が性に関する正しい知識の習得 につながっている。思春期保健ネットワ ーク会議で作成した、中学生向けリーフレ ットの配布は正しい知識普及の一助とな った。新型コロナウイルス感染症の状況や、 各校の実情・実態に応じて段階的に関係機 関と連携して取組む必要がある。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

(2)家庭や地域における意識づくりの推進	①家庭や地域における男女共同参画推進のための学習機会の充実と啓発	18 家庭や地域に関する学習機会の充実	画 セ ン タ ー 男 女 共 同 参 画	実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りに様々な講座を開催することができなかった。 ・男性の介護講座「あなたもケアメンになろう！」を開催した。〔参加人数〕12人	施設利用の制限などを考慮して、実施可能な講座を行った。	現状維持
			民 館 (生涯 学習 振興 課 公 民 館)	実施	高津公民館・八千代台東南公民館・緑が丘公民館において連続講座を開催し、地域における男女共同参画を進めるための学習機会の充実を図った。 ①高津公民館「高津いきいき学級」(座学編)全3回延べ参加者数42人 ② “ “ 「高津いきいき学級」(健康編)全3回延べ参加者数27人 ③八千代台東南公民館「東南きらめき倶楽部」全4回延べ参加者数84人 ④緑が丘公民館「ときめき倶楽部」(後期)全3回延べ参加者数78人	主に高齢者を対象に、学習へのきっかけづくりや地域でのコミュニケーションの促進を目的に講座を実施した。家庭生活や地域活動に関わっていくための素地を作ることができた。	現状維持
		19 家庭教育の支援	(公 民 館) 生涯 学習 振興 課	実施	・未就学児から小中学生の保護者を対象に、家庭教育に関する講座を実施した。〔講座数・延べ人数〕17講座66人 ・親子を対象に講座を開催した。〔講座数・延べ人数〕25講座288人	家庭や地域における男女共同参画を進めるための学習機会の提供ができた。引き続き家庭教育講座の充実を図る。	現状維持
		19◆1 家庭教育の支援 (1)家庭教育講演会	生涯 学習 振興 課	実施	家庭教育講演会を開催したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催数・定員を縮小した。 〔開催数・参加者数〕H28年度3回222人、H29年度2回173人、H30年度2回151人、R元年度2回149人、2年度1回40人	夫等の男性の参加者を増やしたい。また、共働き家庭の増加やインターネットの普及に伴う情報収集方法の変化等、最近の家庭事情を踏まえた上で、周知や講演会の開催方法の見直しを図りたい。	現状維持
		19◆2 (2)家庭教育学級だよりの発行	振 興 課 生涯 学習	実施	「家庭教育だよりの」小学生版と中学生版を作成し、市内の小中学校に通学する児童・生徒の保護者に配布した。	家庭教育に関する情報を提供することができた。	現状維持
		20 男女で子育てする意識の啓発	課 (保 育 園) 子 ど も 保 育	実施	新型コロナウイルス感染症対策のため、行事は中止や縮小となったが、テレワークの保護者が増え父親の送迎が多くなり、両親が協力しながら子育てする家族が増えた。接触時間を短くすることから、送迎時には話をする時間が十分に取れなかったため、子育て情報については、写真の掲示や情報メールでの配信を行った。	保育の見える化として、子どもの様子や成長の姿を写真やおたよりを通して、両親で楽しく子育てができるよう啓発することができた。	現状維持
			(す て こ ぶ 2 1) 子 ど も 保 育 課	未実施	父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士が交流する「お父さんと一緒に遊ぼうよ」は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、手作りおもちゃや男性保育士によるふれあい遊びなどの動画2本を作成し、夫婦で子育てする意識向上の啓発を図った。〔回数・延べ参加者数〕H29年度5回46人、30年度2回27人、R元年度2回46人、2年度未実施	「お父さんと一緒に遊ぼうよ」は実施できなかったが、動画を配信して夫婦で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持
			援 課 子 育 て 支	実施	子育てに関するサイト「にこにこ☆元気」を運営して啓発を行った。 〔閲覧数〕H28年度2,786人、29年度4,241人、30年度4,195人、R元年度4,612人、2年度5,420人	閲覧者は徐々に増加してきており、子育てに関する意識の啓発を図ることができている。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

			男女共同参画センター	実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座は開催できなかったが、ホームページや男女共同参画だよりで家庭における男女共同参画の意識啓発を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響で、女性の家事負担が増加しており、男女で子育てする意識づくりの重要性が高まっていることが課題になっている。	現状維持
	21 男性の子育て推進		子ども保育課	未実施	父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士が交流する事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、手作りおもちゃや男性保育士によるふれあい遊びなどの動画2本を作成し、夫婦で子育てする意識向上の啓発を図った。〔回数・延べ人数〕H29年度5回46人、30年度2回27人、R元年度2回46人、2年度未実施	事業は開催できなかったが、動画を配信して夫婦で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	Ⅱ 共につくりだす —あらゆる場への男女共同参画—						
1 政策・方針決定の場への男女共同参画							
(1) 行政における多様な参画の推進	促進① 登用への議の女会	22 審議会等における女性委員比率目標達成	男女共同参画センター	実施	女性委員登用状況調査を実施し、結果を庁内に周知することで登用率向上への協力を求めた。また「千葉県女性人材リスト事業実施要領」をグループウェアに掲載した。	女性委員の登用に向けた意識づけに繋がった。	現状維持
	民登用の機会等への市	23 審議会等委員における公募委員登用機会均等	コミュニティ推進課	実施	八千代市審議会等への整理統合及び運営等に関する指針にて、「審議会における女性委員の数は、やちよ男女共同参画プランに掲げた目標値35%の達成に努めるものとする」とされており、市民公募等に際しては、当該内容について各課へ周知を行い、選考に際して女性委員の割合を高めるよう促した。 〔各種審議会等における公募による市民委員の登用率〕(結果の値は、法令等の規定によって市民委員公募になじまない審議会等を除いた値となっている。H28年度23.1%、29年度22.7%、30年22.4%、R元年度22.2%、R2年度23.1% 〔各種審議会等における女性委員の登用率〕H28年度31.7%、29年度32.2%、30年度32.7%、R元年度32.8%、2年度31.5%	各種審議会等において市民委員の定数は決まっていることから、大幅な増加は見込めないが、新設の各種審議会を立ち上げる際などは、できる限り市民公募の数を増やしてもらえるよう周知してきた。女性委員の登用については、各審議会担当課の女性委員の割合を高めることへの意識は浸透してきたが、登用率は横ばいの状態である。	現状維持
	促進③ 採用の用女登と性用管職の理員	24 市女性職員の採用・管理職への登用の促進	職員課	実施	性別に関わらず適切な人事管理・職員の採用を行った。 〔職員採用試験受験者の女性割合〕H28年度45.7%、29年度36.9%、30年度35.8%、R元年度28.3%、2年度39.9% 〔管理職職員の女性職員割合〕H28年度22%、29年度18.8%、30年度19.6%、R元年度18.4%、R2年度17.4% 〔女性職員の採用人数〕H28年度25人、29年度24人、30年度19人、令和元年度15人、2年度24人	今後は職域の拡大に努め、技術職等女性の受験者数の確保を図る。また、女性職員の育成のために、研修等への参加を促し、管理職への登用推進を図りたい。	現状維持
成人め参(2) 材の画男 発指推女 掘導進共 者の同 育のた	会機① 指の会た 充・め 実交の者 流学育 機習成	25 自主学習グループの育成とリーダーの発掘	男女共同参画センター	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。		未実施・休止・廃止

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 II 共に作りだす —あらゆる場への男女共同参画—							
2 地域での男女共同参画							
(1)まちづくりへの多様な参画の推進	①まちづくりへの男女共同参画	26 自治会の支援・育成	課 コミュニティ推進	実施	地域まちづくりをしている自治会活動事業への補助金を交付した。(1世帯当たり300円)また、開発事業における事前協議の際に、入居者に対して自治会への加入、結成を働きかけた。 〔市民組織補助金交付〕H28年度245自治会、29年度245自治会、30年度245自治会、R元年度241自治会、2年度236自治会	自治会活動事業への補助を行った結果、地域活動を支援とまちづくりへの多様な参画の推進を図ることができた。また、開発事業において自治会への加入、結成を働きかけたが加入率は低下した。	現状維持
		27 自主防災組織創設・育成事業	危機管理課	実施	・新規自主防災組織と既存組織に対して補助金を交付した。 ・各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施した。 ・自主防災組織の新規結成を図るため、未結成の自治会を訪問し結成に関する説明を行った。 〔新規結成した自主防災組織数〕H28年度3組織、29年度6組織、30年度6組織、R元年度2組織、2年度1組織 〔自主防災組織会長の女性割合〕H28年度約10%、29年度約14%、30年度約11%、R元年度約12%、2年度約10%	自主防災組織が行う防災活動に対する補助金の交付を行うことにより、自主的な防災活動の推進を図り、地域全体においてまちづくりへの多様な参画を推進した。	現状維持
		28 防災意識の普及・啓発	危機管理課	実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、まちづくりふれあい講座が開催されなかった。防災訓練についても、例年通り実施できなかった。 〔まちづくりふれあい講座の実施件数〕H28年度1回、29年度0回、30年度2回、R元年度1回、2年度未実施 〔防災訓練における防災講話の実施回数〕28年度29回、29年度26回、30年度22回、R元年度28回、2年度4回	防災訓練における防災講話などの実施により、市民の防災意識への普及・啓発を図り地域全体において、まちづくりへの多様な参画を推進した。	現状維持
		29 リサイクル等のイベントの開催	クリーン推進課	未実施	・新型コロナウイルス感染症の影響により、八千代フリーマーケットが中止された。〔実施回数と参加者数〕H28年度3回約2,300人、29年度2回約1,300人、30年度2回約2,300人、R元年度2回約2,700人、2年度未実施 ・同じく八千代どんと祭が中止となった。〔来場者数〕H28年度約2,000人(2日間)、29年度175人、30年度1,677人(2日間)、R元年度779人、2年度未実施		未実施・休止・廃止
	育成②地域活動の支援と	30 市民活動サポートセンターの運営	進課 コミュニティ推	実施	市民活動団体に利用者相互の交流の場を提供する交流支援、事務的な活動の場を提供する活動支援、情報の収集と発信の場を提供する支援を行った。 〔市民活動サポートセンター利用者数〕H28年度5,630人、29年度5,607人、30年度5,975人、R元年度5,293人、2年度2,607人	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等の交流を通じた意識づくりは困難だった。今後は、状況を注視しながら、様々な機会を通して意識醸成を図る。	現状維持
		31 女性消防団員の事業参画推進	課 消防総務	未実施	応急手当指導員の資格を持った女性の消防団員による、市民への救命講習、小中学校生徒に対して救命体験及び幼年消防クラブを対象に、火災予防啓発等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により休止した。		未実施・休止・廃止

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		32 活動に関する情報提供の充実	振興課 生涯学習	実施	市ホームページや、子ども・若者向けの「はっぴいういんど」にリンクを貼るなどして情報提供を行った。	情報提供元を精査し、市ホームページにリンクを貼り、情報の窓口として機能するよう努めた。	現状維持
		33 ボランティア活動の環境整備	健康福祉課	実施	八千代市社会福祉協議会が、福祉教育の一環として市内小中学校及び高等学校を対象とした出前講座を行い、地域活動・ボランティア活動への参画を促した。 ・出前講座(福祉教育)〔実施校数〕H28年度14校、29年度11校、30年度19校、R元年度18校、2年度13校 ・ボランティア育成講座〔参加者数〕H28年度200人、29年度165人、30年度138人、R元年度179人、2年度31人 ・地域の担い手育成講座〔参加者数〕38人 ・災害ボランティア・被災者支援センター立上げ訓練 1月に職員・関係団体・市のみで実施。3月に外部講師による福祉医院向けの災害ボランティア講座を開催した。	ボランティア育成講座及び福祉教育等を実施することにより、ボランティアについての意識づくりとボランティア活動の担い手の育成に繋がった。	現状維持
		34◆1 地域の人材活用の充実 (1)生涯学習ボランティアバンク	生涯学習振興課	実施	市や総合生涯学習プラザのホームページへの掲載や、主催講座でのチラシ配布により、生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努めた。また、登録講師の更新を行った。 〔登録者数〕H28年度49人、29年度56人、30年度40人、R元年度39人、2年度36人〔実施回数・延べ利用者数〕H28年度11回340人、29年度21回521人、30年度37回591人、R元年度17回220人、2年度3回27人	制度の周知に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用件数・実施回数・利用者数共に減少した。	現状維持
		34◆2 (2)公民館ボランティア講師制度	課(公民館) 生涯学習振興	実施	各種の技能・能力を持っている人が、公民館でボランティア活動を行いやすくするために「公民館ボランティア講師制度」を実施している。主催講座だけではなく、公民館を利用するサークルや、地域の人たちも依頼できるように情報提供を行っている。〔登録者数〕H28年度78人、29年度78人(年度末に更新確認)、30年度50人、R元年度49人、2年度50人	地域活動・ボランティア活動への参加意識を高める一助となっていることから、今後も啓発方法や情報提供などの充実に努める。	現状維持
		35 地域集会施設の整備	コミュニティ推進課	実施	男女が参画し地域まちづくりの拠点となる地域集会施設の修繕、管理運営に補助金を交付した。また開発事業による、事業主との事前協議で、住居計画戸数が100戸以上の場合には集会用地や集会室等を確保するよう指導した。 〔修繕事業補助金交付〕H28年度3件、29年度1件、30年度1件、R元年度3件、2年度0件〔管理運営補助金交付〕H28年度77件、29年度79件、30年度78件、R元年度78件、2年度77件〔開発事前協議指導〕H30年度1件、H28年度・29年度・R元年度・2年度0件	地域集会施設の修繕、設置管理運営に補助金を交付し、地域での集会活動の活性化が図れるように集会施設の整備を支援することができた。	現状維持
連携・協働による	①多様な主体の連携	36 連携と協働による男女共同参画の推進	男女共同参画センター	実施	過去に活躍した女性の人生を振り返り、女性の生き方について考える「女性学講座」を支援団体「らいてうの会」との連携と協働で実施した。〔参加人数〕H28年度36人、29年度49人、30年度39人、R元年度55人、2年度19人	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場の利用制限があったが、連携・協働して男女共同参画の推進を図ることができた。	現状維持

【資料 1】 令和3年度(2 年度実績) やちよ男女共同参画プラン第 2 期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	37 地域子育て支援ネットワークの構築	子ども保育課 (すてっぷ21)	実施	母子保健課と協働で地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点とした地域子育て支援のネットワークの構築を推進し、子育て支援事業の実施において、地域の協力団体等との連携を図り、妊娠、出産、乳幼児期を通じた切れ目のない支援を行った。	地域子育てネットワークの構築に努め、地域の協力団体等との連携により子育て支援事業を実施することで、子育てしやすいまちづくりの推進を図ることができた。	現状維持
		母子保健課	実施	子ども保育課と連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠期から出産、乳幼児期までの切れ目のない支援の提供と子育てしやすいまちづくりの推進を図った。子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター・母子保健課で地域の関係機関や団体と地域情報交換会を実施。地域の特性に合わせ、子育てアドバイザー（保育士）と保健師がコーディネーターとなり地域の子育て支援者及び団体とのネットワーク化を図った。また、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターの地域に対応した活動として、関係機関や団体の会議に随時出席して情報交換を行ったほか、支会との協働で出前「遊びと交流の広場」を開催し、多様な連携・協働につなげた。 ・地域情報交換会を市内7か所で開催〔実施回数と参加者数〕H28年度8回144人、29年度7回136人、30年度7回134人、R元年度7回148人、2年度7回(4回は書面開催)156人	地域情報交換会を通じて地域の子育て支援関係団体の活動を知り、情報交換や子育て世代に関する共通理解を図ることにより、連携が取りやすくなってきている。顔の見える関係づくりによるネットワークが構築されてきている。引き続き、地域の特性に合わせたコーディネートを行いネットワーク化の推進を図る。	現状維持
	38◆1 地域活動団体の支援・連携 (1)文化団体の支援・連携	文化・スポーツ課	実施	例年は、文化団体連絡会を年2回開催し、6月には市民文化祭の準備を、1月には実施報告を行っている。令和2年度は、6月の会議は予定通り開催できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で市民文化祭が中止となったため、団体相互の交流機会が減少した。	交流の機会は減ってしまうが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、連絡会を2部制にしたり、書面開催を検討したりする必要がある。	現状維持
	38◆2 (2)青少年育成団体の支援・連携	生涯学習振興課	実施	青少年の健全育成を目的とする団体に対し、活動費の一部を助成した。また、事業を後援したり、団体間の連携を支援したりして、活動環境の整備に努めた。〔補助金総額〕H28年度から30年度まで、毎年度206万5千円、R元年度204万3千円、2年度167万8千円	活動費を一部助成したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、青少年育成活動の多くが実施できなかった。	現状維持
	38◆3 (3)青少年学校外活動支援事業実行委員会の支援・育成	生涯学習振興課	実施	学校の休日等に子どもたちへの様々な体験活動の場や機会を提供している団体に対し、消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会等を実施し、活動内容の充実が図られるよう支援した。 〔延べ出席者数〕H28年度57人、29年度42人、30年度51人、R元年度34人、2年度20人(うち書面会議9人)	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが中止になったことから、今後の感染症との向き合い方や、参加する子どもたちの安心安全について「学校外活動支援事業実行委員会会議に於いて意見交換が行われ、新しいスタンスを検討する機会となった。	現状維持
38◆4 (4)PTA 連絡協議会の支援・連携	生涯学習振興課	実施	令和2年度は、八千代市PTA連絡協議会が主体となって行っている研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。(市教育委員会後援) 〔参加者数〕R元年度635人、2年度中止	主な行事は中止になったが、八千代市PTA連絡協議会主催会議の会場調整等、担当課として活動を支援することができた。	現状維持	

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		38◆5 (5) 地域活動団体の支援・連携	生涯学習 振興課 (公民館)	実施	子ども会や自治会等の地域団体との連携の強化, 相互協力体制の充実を図り, 地域活動に従事する各種団体の支援・育成に努めた。地域の自治会等の総会や役員会に対して場所の提供を行った。	多様な主体の連携・協働が図れた。今後も継続したい。	現状維持
		38◆6 (6) 講座後の自主グループの支援・連携	文化スポーツ課 (郷土博物館)	実施	八千代土器づくり同好会, 竹細工同好会, 古文書同好会, 篆刻同好会, 博物館主催講座の受講生が中心となり組織された同好会の活動を支援している。活動の成果を発表する展示会も連携して開催している。また, 主催講座において, 会員が講師や講師補助として, 受講者の指導に当たり活躍している。 ・八千代土器づくり同好会〔実施回数〕H28年度~30年度毎年度1回。R元年度からは, 新人中心の活動となり技術的に展示会を開くレベルではないことから休止。 ・竹細工講座〔実施回数〕H28年度~R2年度毎年度1回 ・古文書同好会 ・篆刻講座〔実施回数〕H28年度~R元年度毎年度2回	同好会の活動を支援することにより, 加入者も増加し, 多様な主体の連携・協働を図ることができた。	現状維持
		39 関連施設・機関との連携	生涯学習振興課 (公民館)	実施	関連施設との連携を図ることにより, 活動の充実に努めた。 ・社会教育施設との連携 (1)高津公民館・郷土博物館「おもしろ歴史講座」〔延べ参加者数〕11人, 八千代台公民館・八千代台図書館「夏のおはなし・冬のおはなし」〔延べ参加者数〕14人 ・男女共同参画センター事業への協力。	連携により, 情報交換の場が広がり, 充実した市民サービスへの一助となった。	現状維持
		40 広報女性版の発行	広報広聴課	—	広報女性版は昭和49年に始まり, 市内の施設や小学校等の協力を得るなど, 多様な主体との連携・協働によって発行してきたが, 女性目線で社会や生活について考えるという企画目標は達成されたと考え, 平成30年1月15日号を最後に発行していない。	発行実績なし。	

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 II 共に作りだす —あらゆる場への男女共同参画—							
3 国際社会への理解と交流の推進							
解(1) 平和と国際社会への理	識づくり ①国際社会を理解するための意	41◆1 国際社会を理解するための意識づくり (1)国際平和作文コンクール	シテイプロモーション課	未実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 〔応募総数〕H28年度3,165編(小学校1,617編・中学校1,548編), 29年度3,417編(小学校1,780編・中学校1,637編), 30年度3,320編(小学校1,749編・中学校1,571編), R元年度3,080編(小学校1,676編・中学校1,482編), 2年度未実施		未実施・休止・廃止
		42◆1 外国語指導助手による国際教育の推進 (1)外国語指導助手派遣事業	指導課	実施	〔中学校のALT(直接雇用)〕H28年度6人, 29年度6人, 30年度6人, R元年度6人, 2年度6人 〔小学校のALT(民間派遣)〕H28年度7人, 29年度8人, 30年度10人, R元年度10人, 2年度12人 ・英語教材の作成, 教員研修や学校行事への参加を行った	児童・生徒の外国の生活や文化・言語に対する興味関心を深め, 国際社会を理解するための意識作りを図ることができた。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	43 情報の提供	男女共同参画センター	実施	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修で、男女共同参画の講義を行った。 大和田図書館で国際女性の日に合わせて、図書の展示を行った。 	コロナ禍において可能な方法を検討し、取り組むことができた。	現状維持
	44◆1 外国人に対するコミュニケーション支援 (1)外国人に対する情報提供、相談業務	シティプロモーション課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 多文化交流センターに通訳を配置し、各種相談や情報提供を行った。 〔利用者数〕H28年度1,493人、29年度1,346人(男396人女950人)、30年度1,394人(男447人女947人)、R元年度1,631人(男584人女1,047人)、2年度1,465人(男515人女950人) 多文化交流センター及び市役所で、小中学校の入学説明会の時期に合わせて学用品を展示し、外国籍の親子に対し日本の学校制度についての説明会を行った。〔参加者数〕H28年度8組、29年度12組、30年度8組、R元年度15組、2年度20組 毎月多言語による生活情報メール配信を行った。〔登録者数〕H28年度191人、29年度276人、30年度288人、R元年度298人、2年度308人 	外国人に対して多言語で情報提供等を行うことによって、コミュニケーション支援の充実を図ることができた。	現状維持
	44◆2 (2)日本語の学習機会の提供	シティプロモーション課	実施	<p>八千代市国際交流協会主催の日本語教室を外国人に案内するとともに、団体に対して会場の提供などの支援を行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場となる施設の利用制限が行われたため利用者が減少した。</p> <p>〔教室数・延べ参加者数〕H28年度大人向け9教室2,159人・子ども向け1教室484人、29年度大人向け9教室2,293人・子ども向け1教室464人、30年度大人向け9教室2,297人・子ども向け1教室395人、R元年度大人向け9教室2,356人・子ども向け1教室198人、2年度大人向け9教室839人、子ども向け1教室88人</p>	外国人に日本語学習の機会を提供して語学力の向上を促すことで、コミュニケーション支援の充実を図った。	現状維持
	44◆3 (3)多言語による防災に関する情報提供	危機管理課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語版のパンフレットを支所等で外国人転入者に配布した。 市内小中学校に設置した防災倉庫に多言語カードを配置した。 英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の防災情報メールで災害情報の配信を行った。 WEB版浸水ハザードマップ英語版を公開した。 	WEB版浸水ハザードマップ英語版を作成したことで、日本語に慣れていない外国人が防災情報を確認しやすい環境を整備した。	積極的な推進
	45 外国人児童生徒の教育推進事業	指導課	実施	<p>日本語の指導が必要な外国人児童生徒、保護者、教員等に対して、日本語指導や学習面・生活面の適応等の教育相談を実施した。</p> <p>〔相談者数〕H28年度42人、29年度45人、30年度57人、R元年度59人、2年度85人</p>	相談体制の充実を図ることができた。	現状維持
	46 多文化共生の地域づくり	シティプロモーション課	実施	<p>八千代市国際交流協会が実施するアミーゴこども日本語教室及びオープンセサミ英語教室を支援した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場となる施設の利用制限が行われたため利用者が減少した。</p> <p>〔延べ利用者数〕H28年度1,451人、29年度1,326人、30年度1,194人、R元年度914人(新型コロナウイルス感染症の影響により減少)、2年度468人</p>	国際社会への理解を深めるとともに、外国人に対するコミュニケーション支援の充実を図った。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

(2) 国際交流の推進	① 国際交流関係団体との連携	47 国際交流協会との連携	シテイブローモーション課	実施	イベントの企画・運営や広報等のバックアップ、日本語教室等の会場確保、情報交換や課題の解決に向けた定例会議への参加等を行って連携を図った。また、八千代市国際交流協会補助金交付要綱に基づき補助金を交付して、事業が円滑に実施されるよう支援をおこなった。 〔補助金額〕 H28年度 108万393円、29年度 132万9,072円、30年度 110万円、R元年度 118万6,200円、2年度 74万5,312円(新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等が未実施となったため減額)	連携を図ることで、市民主体の交流支援の充実を推進させることができた。	現状維持
	② 交流機会の充実	48◆1 国際交流事業の充実 (1) 姉妹都市タイラー市との交流事業の支援	シテイブローモーション課	未実施	国際姉妹都市アメリカ合衆国テキサス州タイラー市との市民主体による交流事業を支援しているが、R2年度は交流事業の実施年度ではなかったため実施していない。 〔タイラー市訪問団受け入れ〕 H9年度 21人 〔八千代市親善訪問団派遣者数〕 R元年度 15人(アメリカ国務省からの補助金で、教育委員会職員3名が同行)		未実施・休止・廃止
		48◆2 (2) こども親善大使の派遣・受け入れ事業	シテイブローモーション課	未実施	八千代こども国際平和文化基金事業である、タイ王国バンコク都への八千代こども親善大使の派遣・バンコクこども親善大使の受入事業の実施及びこども親善大使のOGOB会「ダイラックアン」の国際交流活動の支援。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 〔バンコクこども親善大使受入者数〕 H28年度こども親善大使 10人同行職員 6人、29年度こども親善大使 10人同行職員 6人、30年度こども親善大使 12人同行職員 8人、R元年度こども親善大使 12人同行職員 7人、2年度未実施 〔八千代こども親善大使派遣者数〕 H28年度小学校 5年生 6人・中学校 2年生 4人同行職員 5人、29年度中学 2年生 12人同行職員 7人、30年度中学 2年生 12人同行職員 7人、R元年度中学 2年生 12人同行職員 6人、2年度未実施		未実施・休止・廃止

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	Ⅲ	自分らしく生きる		ワーク・ライフ・バランスの推進			
	1	働く場における男女共同参画					
支援	(1) 職場における意識啓発と就労 ① 企業・団体・公的機関及びその従業員に対する意識啓発	49◆1 職場における男女平等意識の啓発 (1) 男女平等の意識啓発	商工観光課	実施	国及び県等から提供された情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	効果的な情報提供が課題。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	50 市職員への意識啓発	職員課	実施	子育てや家族介護に関する休暇・給付制度等の資料を作成し周知を図るとともに、火曜及び木曜日の終業時間に庁内放送を実施し、時間外勤務の抑制やワーク・ライフ・バランスの大切さを呼びかけた。	・子育て等に係る有給休暇の充実を図りプラン内目標値を達成したが、引き続き啓発する必要がある。 ・庁内放送の実施により、時間外勤務の抑制を図ることができた。	現状維持
③農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	51 相談機関等の情報提供	商工観光課	実施	国及び県等から提供された情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	効果的な情報提供が課題。	現状維持
	52 家族経営協定の締結促進	農政課	実施	女性や後継者等が果たす役割を適正に評価し、積極的に経営に参画できるよう、県等と連携を図りながら家族経営協定の締結を促進した。 〔家族経営協定締結数〕H29年度28件、30年度28件、R元年度31件、2年度33件	県等の関係機関と連携して、新規で2件の協定が締結された。	現状維持
	53◆1 講座の開催 (1)女性農業従事者を対象とした講座等の開催	農政課	実施	やちよ農業交流センターにおいて、女性農業従事者を対象に実施している「やちよ農と食の学び舎」で講習及び視察を行った。 〔実施回数・参加者数〕H28年度5回63人、29年度7回68人、30年度12回45人、R元年度20回73人、2年度12回58人	女性農業従事者の意識啓発と就労支援につながった。	現状維持
	54◆1 女性リーダーの育成 (1)女性指導農業士及び農業士等の育成	農政課	実施	新たな女性農業士・指導農業士の認証に向け、県との協議により対象者等の検討を行った。また、農業後継者の育成活動及び農業者の社会的評価の向上活動を行っている八千代市農業士等協会の視察研修会、情報交換会の場で県と協力し意識啓発を行った。 〔八千代市農業士等協会女性役員数〕H28年度2人、29年度から各年度1人 〔女性指導農業士数〕H28年度からR元年度まで各年度2人 〔女性農業士数〕H28年度からR元年度まで各年度3人	監事に女性が就任することで女性農業者の地位向上へつなげることができた。女性農業士及び女性指導農業士を増やすことが課題である。	現状維持
	54◆2 (2)女性農業者団体への支援	農政課	実施	若手女性農業者組織のJA八千代市フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部の活動に対して県と連携し、同倶楽部からの依頼に応じて総会への出席や講習会等への参加等を行った。 〔総会出席回数〕H29年度からR元年度まで各年度1回 〔視察研修参加数〕H29年度1回、H30年度0回、R元年度1回(総会と視察研修会を同時開催)、2年度未実施 〔講習会等参加回数〕H29年度からR元年度まで各年度1回、2年度未実施	R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛した。	現状維持
55 農業部門における政策や方針決定の場への女性の登用促進	農政課	未実施	八千代市農業士等協会会長が女性から男性に交代したことに伴い、農業政策の諮問機関である八千代市農政審議会の女性委員の割合が2割となった。 〔実施回数・参加者数〕H28年度3回28人、29年度2回17人、30年度2回20人、R元年度2回19人、2年度未実施 〔農政審議会委員数〕H28年度男7人女3人、29年度男8人女2人、30年度男8人女2人、R元年度男8人女2人、2年度男8人女2人	引き続き女性のみの推薦枠を確保し、女性委員割合目標値を目指していきたい。	現状維持	

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

(2) 就労による経済的自立の支援	① 男女の職域拡大	56 パンフレット等による情報提供	商工課	実施	国及び県等からのチラシを窓口に掲示して情報を提供した。	国や県等からの情報提供に基づき、市民等へ周知が図れた。	現状維持	
		57 消防本部における女性の職域拡大	消防総務課	実施	消防職員採用に伴う学校訪問を実施した。 〔消防職員採用に伴う学校訪問数〕H28年度：大学3・専門1・高校8校、29年度：大学13・専門1・高校13校、30年度：大学11・専門1・高校12校、R元年度：大学11・専門3・高校12校 〔消防職員採用試験採用者数〕H28年度：男12人女1人、29年度：男14人女1人、30年度：男17人女1人、R元年度：男10人女1人、2年度：男10人女1人	学校訪問を行って、女性の就職の機会を広げる啓発ができた。全国の消防吏員に占める女性消防吏員比率を、令和8年度当初までに5%に引き上げると示されているが、令和3年度4月1日現在、本市の女性消防吏員の割合は4.9%であり令和2年度も女性のを採用しているが、数値目標には至っていないことから、今後も女性職員の募集に努め、性別に関わらない採用を行う。	現状維持	
		58 シルバー人材センターへの支援	長寿支援課	実施	就労意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、運営費の補助等により、シルバー人材センターの運営を支援した。 〔会員数〕H28年度男544人女104人、29年度男515人女98人、30年度男518人女113人、R元年度男530人女126人、2年度男490人女131人 〔年間就業者数〕H28年度男510人女82人、29年度男494人女80人、30年度男468人女90人、R元年度男465人女108人、2年度男448人女98人 ・就業の機会拡大を図るため、市ホームページにバナー広告、パートタイムの募集を掲載した。	運営費の補助をすることにより、本人の希望を尊重して男女の区別なく、就労の機会及び社会参加を促進することができた。65歳定年時代で高齢者雇用が推進される中、シルバー人材センターの会員数の拡大に向けた取組みが課題となっている。	現状維持	
	② 職業に関する相談・情報提供機能の充実	59 職業相談・情報提供の実施	商工課	実施	就業支援として、国の機関である地域職業相談室の維持に努めた。また、就労支援事業のチラシ等を地域職業相談室に配架し、求職者への情報提供に努めた。	職業に関する相談及び情報提供機能の充実に繋がっている。	現状維持	
		③ 女性の生涯を通じた能力開発	60 技術講習会への参加の啓発	商工課	実施	関係機関から提供された情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	国や県等からの情報提供に基づき、市民等へ周知が図れた。	現状維持
			61 女性の就労支援	男女共同参画センター	実施	女性のための就職サポート講座1「家庭と両立させるキャリアプラン」〔参加人数〕10人、女性のための就職サポート講座2「採用担当者が会いたくなる応募用紙の書き方」〔参加人数〕6人	新型コロナウイルス感染症が女性に及ぼしている影響の一つが失業であることから、優先すべき事業として開催した。再就職に必要な情報の提供ができた。	現状維持
	62 市職員の人員の配置		職員課	実施	職場において、女性と男性が均等な機会を与えられ、女性の意欲と能力を十分に発揮することを配慮した人員の配置を行った。 〔女性副主幹相当職人数(総数116人)〕H28年度62人、29年度59人、30年度42人、R元年度38人、2年度36人 〔女性主査相当職人数(総数207人)〕H28年度103人、29年度98人、30年度84人、R元年度77人、2年度65人	部局により、男女比のばらつきが発生している。また、産休・育休に対応していくための代替者の確保が課題となっている。	現状維持	

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

(3) 多様な働き方への支援	啓発 ① 育児・介護等 特別措置等 再雇の 雇休	63 子育て・介護と仕事との両立のための制度等の周知	タ 1 参 画 共 同	実施	男女共同参画だよりや商工やちよに掲載して情報提供を行った。また、市民アンケートに男性の育児休暇取得に関する質問を設け、その結果を4コマまんがで取り上げ周知した。	継続して周知を図ることができた。	現状維持
			光 課 商 工 観	実施	国及び県等から提供された育児休業制度の情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	国や県等からの情報提供に基づき、市民等へ周知が図れた。	現状維持
	短縮の啓発 ② 労働時間	64 労働時間短縮に関する情報提供	セ 同 男 参 画 共 同	未実施	コロナ禍における課題を優先して進める必要があったため、令和2年度は未実施。		未実施・休止・廃止
			光 課 商 工 観	実施	国及び県等から提供された労働時間短縮に関する情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	国や県等からの情報提供に基づき、市民等へ周知が図れた。	現状維持
	保護の啓発 ③ 企業・事業主 に対する 母性 保護	65 母性保護に関する啓発活動の実施	セ 同 男 参 画 共 同	未実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各種パンフレットの配布等はできなかった。また、コロナ禍における課題を優先して進める必要があった。		未実施・休止・廃止
			光 課 商 工 観	実施	国及び県等から提供されたパンフレットを窓口に掲示し、市ホームページへ掲載して、母性保護に関する啓発を行った。	国や県等からの情報提供に基づき、市民等へ周知が図れた。	現状維持

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	Ⅲ	自分らしく生きる ―ワーク・ライフ・バランスの推進―					
	2	家庭における男女共同参画					
(1) 家事・育児への共同参画	① 家事・育児への意識啓発と学習機会の充実	66◆1 子育て体験学習の推進 (1) パパとママの子育て教室	母子保健課	実施	夫婦で子育てをする意識を啓発するために、沐浴実習やパパ同士・ママ同士の座談会をメインとした子育て教室を開催した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で教室の開催は中止したが、パパとママの子育て教室で行う沐浴実習等を動画配信し、赤ちゃんと生活するイメージ等を持ってもらう情報を提供した。また、広報やちよに「自宅で必要な情報を得られるように一妊娠期から乳幼児期までの情報を一」の特集記事を掲載して市民に周知した。 〔開催回数・参加者数〕H28年度12回男性216人女性220人、29年度12回男性226人女性234人、30年度12回男性239人女性248人、R元年度10回男性217人女性220人(3月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)、2年度は未実施〔夫婦で協力して子育てする大切さを感じた人の割合〕H28年度男性99.1%・女性98.2%、29年度男性99.6%・女性98.7%、30年度男性98.3%・女性99.6%、R元年度男性96.7%・女性99.1%	教室の開催は中止したが、個別支援として感染防止対策を講じた上で、家庭訪問や来所相談などで沐浴指導などの支援を行った。現在公開している動画等を引き続き周知していく。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		67 男性のための講座等の実施	(公民館) 生涯学習 振興課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、調理室の利用制限が発生したため男性の料理教室は実施できなかった。		未実施・休止・廃止
(2) 介護への共同参画	① 介護への意識啓発と学習機	68 家族介護者支援の実施	健康づくり課	未実施	「身体に負担をかけないための介護について学ぶ講座」「介護をする家族のための交流会」を開催してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止した。	本市における要介護認定者数は増加傾向にあり、家族介護者も増加していると推察される中で、介護を一人で抱え込まないために必要な事業である。今後は新型コロナウイルス感染症及び長寿支援課の取組みも鑑みたく、男女ともに介護について学ぶ機会を提供できるようにする。	未実施・休止・廃止
		69 高齢者の介護や虐待に関する講座の実施	域包括支援センター	実施	認知症サポーター養成講座(まちづくりふれあい講座含む)を実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した回があった。 〔開催数・延べ参加者数〕H28年度21回591人、29年度25回656人、30年度25回786人、R元年度30回718人、2年度10回198人	感染症に留意して講座を開催していきたい。	現状維持

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	Ⅲ 自分らしく生きる	—ワーク・ライフ・バランスの推進—					
	3	多様な生き方を選ぶための条件の整備					
(1) 生涯にわたる学習機会の整備	① 学習機会の整備・拡充	70◆1 生涯学習活動の推進 (1) まちづくりふれあい講座	生涯学習振興課	実施	市民等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を生かした講座を行うことで、市民の学習活動を支援した。また、講座一覧を掲載したパンフレットを作成し、配布及び市ホームページで周知した。 〔開催数・参加者数〕H28年度403回13,713人、29年度364回9,486人、30年度363回11,979人、R元年度355回10,123人、2年度61回905人	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催数・参加者数は減少したが、講座の項目が1増となり市民に提供できる内容を増やすことができた。	現状維持
		71 講座等の開催やグループ活動への支援	男女共同参画センター	実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用が中止になったり、利用制限が発生したりしたことから、登録団体の利用は減り主催講座の多くを中止する結果となった。しかし、コロナ禍における女性を取り巻く課題解決につながる講座を優先して開催。支援団体「らいてうの会」と毎年開催している女性学の公開講座についても、感染防止に配慮しながら共催で実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動支援が限られてしまったが、登録団体への情報提供を行うと共に、状況を見ながら必要な講座を開催することができた。	現状維持
		71◆1 (1) 市民文化祭の開催・文化団体活動の支援	文化スポーツ課	実施	新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限により、市民文化祭の練習が行えない団体に対し、市民会館(大・小ホール)、勝田台文化センター(ホール)、生涯学習プラザ(多目的ホール)、東南公共センター(ホール)、緑が丘公民館(ホール)の使用料を免除する支援を行った。市民文化祭を中止した後も、すでに予約している日程については、使用料を免除し、利用できるよう対応したため、参加団体の活動支援につながった。	市民文化祭参加団体数も多く、施設の一部の枠を優先予約として確保したため、一般利用者を制限することとなった。今後は一般利用者の予約・抽選が終わってから参加団体の日程を確保する。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		71◆2 (2)講座等の開催・サークルの支援	生涯学習振興課(公民館)	実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部休止となった。 ・主催講座の開催〔講座数・延べ参加者数〕119講座1,696人 ・公民館まつりの実施 休止 ・登録サークルの支援〔サークル・会員数〕322サークル4,797人、延べ利用者数36,768人	例年通りには開催できなかったが、学習機会の整備・充実を図ることができた。	現状維持
		72 図書館ネットワークの活用	生涯学習振興課(図書館)	実施	図書館ネットワークにより、中央図書館を中心として資料・情報の共有化を図り、利用者に向けた情報提供及び情報発信に努めた。	学習機会の整備・拡充を図ることができた。図書館ネットワークを活用して、利用者のニーズに対応していく。	現状維持
	②子ども連れで行くことができる施設の整備	73 子ども連れで行くことができる施設の整備・活用	子ども保育課(すてっぷ21)	中止	新型コロナウイルス感染症の影響で事業は中止となったが、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて、子育てについての情報提供を行った。 ・「みんなで食育」〔延べ保育数・ボランティア数〕H29年度177人・ボランティア56人(31回実施、参加326人)、30年度116人・ボランティア58人(22回実施、参加169人)、R元年度40人・ボランティア37(17回実施、参加者150人)、2年度未実施 ・子育てワークショップ「おしゃべり広場」〔延べ保育数〕H29年度115人・ボランティア87人(22回実施、参加者98人)、30年度76人・ボランティア57人(15回実施、参加者63人)、R元年度32人・ボランティア28人(9回実施、参加者28人)、2年度未実施	事業は実施できなかったが、子育てについての情報提供を行うことができた。	現状維持
			男女共同参画センター	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、保育室の利用制限が続いたため、保育付の講座は行わなかった。		未実施・休止・廃止
			生涯学習振興課(公民館)	実施	家庭教育講座や親子学級を実施する際に、保育士による一時保育を行ったり、臨時的任用職員等が子どもの世話をしたりして、保護者が安心して参加できるように学習機会の充実にも努めた。また、親子で参加できる主催講座を企画した。〔保育数〕H28年度5名、以後R2年度まで実績はない	子ども連れでも学習できる機会を提供できた。	現状維持
			生涯学習振興課(図書館)	実施	・はじめての絵本コーナーを充実させて、赤ちゃん向けの絵本選びがしやすい環境を整えた。 ・子ども連れでも利用しやすい環境を整えるために、保護者向けに子育ての本を集めた「子育てコーナー」を充実させた。 ・中央図書館では、子ども連れでもゆっくりと本を選べるショート託児サービスを実施したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりサービスを中止した。〔回数・利用者数〕H28年度150回2,266人、29年度143回2,554人、30年度139回2,490人、R元年度123回1,812人、2年度中止	子ども連れでも利用しやすい環境を整備した。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		73◆1 (1) 図書館における児童サービスの充実・利用促進	興課(図書館)	実施	・0~1歳向け、2~3歳向け、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会を開催した。〔開催数〕H28年度437回、29年度592回、30年度595回、R元年度554回、2年度369回 ・児童向けのイベントとして図書館クイズ、映画会等を各館で開催した。	子ども連れで行ける施設としての活用が図られた。今後も対象者に合わせたサービスを実施していきたい。	現状維持
(2) 生きがい対策の推進	① 地域活動への参加の推進	74◆1 高齢者の生きがい対策の充実 (1) 単位老人クラブ、長寿会連合会の運営費補助	長寿支援課	実施	老人クラブの健全な発展を図るため、老人クラブ及び長寿会連合会への補助金を交付した。 〔会員数〕H28年度男1,168人女1,645人、29年度男1,148人女1,701人、30年度男1,152人女1,689人、R元年度男1,117人女1,648人、2年度男1,107人女1,630人 〔補助金〕単位老人クラブ3,623,902円、長寿会連合会2,928,000円	新型コロナウイルス感染症が拡大している中だったが、高齢者の社会参加と生きがい対策の充実を図ることができた。新規会員の獲得が課題。	現状維持
		74◆2 (2) 連合会主催事業運営協力	援課 長寿文	未実施	主体的に活動が行われていることから、現在では運営支援は行っていないが、長寿会連合会の各種主催事業等に出席して連携できる体制を維持している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	今後も要望等があれば対応していく。	未実施・休止・廃止
		74◆3 (3) ふれあい大学校運営	長寿支援課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響で、4月当初、入学式及び1学期の講義を中止。その後、収束の見通しが立たなかったことから、令和2年度の事業は中止とした。〔入学予定者数〕一般教養コース53人(男19人女32人)、健康福祉コース57人(男15人女42人)		未実施・休止・廃止
		74◆4 (4) 高齢者学習グループ支援・育成	課 生涯学習振興	実施	市内在住の60歳以上で20人以上のグループを、高齢者学習グループとして登録し、学習活動に活用してもらえるようまちづくりふれあい講座のパンフレットを送付して支援した。〔登録数・会員数〕H28年度11グループ495人、29年度10グループ451人、30年度10グループ448人、R元年度11グループ510人、2年度11グループ506人	高齢者学習グループの学習活動を支援することができた。	現状維持
		75◆1 ボランティアの指導力の活用 (1) ふれあい教室	生涯学習振興課	実施	わら工芸、紙工芸、折り紙、囲碁、菊づくり、日本の伝統文化と江戸しぐさ、長寿会交流(昔遊び)の7つのボランティア団体を、市内の小・中学校や児童保育所、幼稚園、保育園等に派遣し、世代間や地域間での交流の場を提供した。〔実施件数参加者数〕H28年度154件8,111人：指導者数1,271人、29年度158件8,252人：指導者数1,267人、30年度127件参加者数6,057人：指導者数1,112人、R元年度117件6,237人：指導者数1,054人、2年度9件326人：指導者数39人	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通り実施できなかったが、世代間や地域間での交流の場を提供し、地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋げることができた。	現状維持
		75◆2 (2) 伝承文化支援活動	伝承館	未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。 ・昔遊び〔延べ参加者数〕H28年度120人、29年度118人、30年度133人、R元年度126人、2年度未実施 ・物づくり〔延べ参加者数〕H28年度101人、29年度193人、30年度243人、R元年度224人 *ボランティアスタッフは「ゆいの会」。〔会員数〕H28年度24人、29年度13人、30年度21人、R元年度21人、2年度未実施 ・紙芝居と昔話の会〔延べ参加者数〕H28年度388人、29年度324人、30年度449人、R元年度404人、2年度未実施 *ボランティアスタッフは「本だ		未実施・休止・廃止

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

					いすきの会」〔会員数〕4人		
② 学習の成果をいかす機会の提供	76◆1 学習成果発表の場の提供 (1) 市民文化祭の開催	文化スポーツ課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により市民文化祭は中止。ポスターデザイン画を募集し「市民文化祭ポスターデザイン画展」をオーエンス八千代市民ギャラリーで、8月下旬から9月上旬にかけて開催した。〔参加者数・参観者数〕H28年度11,727人・41,642人、29年度10,394人・40,548人、30年度10,608人・37,996人、R元年度8,938人・34,899人、2年度未実施	今後、市民文化祭の開催方法として、動画を市ホームページに掲載する「オンライン市民文化祭」等の無観客開催等も検討していく。ポスターデザイン画については、応募数を増やすために広報活動に力を入れる。	未実施・休止・廃止	
	76◆2 (2) 公民館まつりの開催	生涯学習振興課(公民館)	未実施	各公民館で毎年開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により休止した。		未実施・休止・廃止	
	77◆1 学習成果の活用 (1) スポーツ指導員認定講習会	文化スポーツ課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。〔参加者数〕H28年度328人、29年度207人、30年度133人、R元年度161人、2年度未実施	市民の健康意識の高まりや学校の部活動との連携など、多様化する市民ニーズや様々なスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を持ったスポーツ指導者の育成や、効果的に活用できるシステムの構築が必要である。	未実施・休止・廃止	
	77◆2 (2) 青少年団体指導者養成講座の開催	生涯学習振興課	実施	青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」は全5回で実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、屋外でのカリキュラムのみを実施した。青少年健全育成に必要な知識と技術を身につけることを支援し、青少年団体の指導者としての資質向上につなげた。 〔延べ受講者数〕H28年度49人、29年度55人、30年度76人、R元年度34人、2年度2人	新型コロナウイルス感染症の影響により、公募は行わず青少年育成団体を中心に募集したため、参加者が少なかった。	現状維持	
	77◆3 (3) 縄文土器づくり講座・竹細工講座・篆刻講座の開催	文化スポーツ課(郷土博物館)	実施	・「竹細工講座」竹細工同好会と連携して実施。〔受講者数〕H28年度29人、29年度22人、30年度40人、R元年度25人、2年度34人 ・「篆刻講座」篆刻同好会と連携して実施。〔受講者数〕H28年度31人、29年度38人、30年度30人、R元年度34人、2年度未実施 ・「縄文土器づくり講座」〔受講者数〕H28年度56人、29年度17人、30年度47人、R元年度・2年度未実施	受講生が中心となり同好会が組織され、主催講座の講師や作品展を開催して活動を続けている。他の主催講座の受講生からも、同好会に入会する人がいて、学習成果を生かす機会を提供することが、地域活動の拡大支援につながっている。	現状維持	
条件整備 (3) 男性の多様な生き方への	① 男性の日常生活支援	生涯学習振興課(公民館)	実施	「高齢者学級」13講座〔参加者数〕171人(男性29人)	日常生活における、男性の多様な生き方への条件整備につなげ、地域におけるの仲間づくりの一助としたい。	現状維持	

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

画分② 分野が少 ない参 進への参 進の参	79 男性の多様な分野への参画の支援	セ ン タ ー 男 女 共 同 参 画	実施	男性の介護講座「あなたもケアメンになろう!」を開催。[参加者数] 12人	男性の参画が少ない介護分野への意識啓発を行うことができた。	現状維持
-----------------------------------	--------------------	--	----	--------------------------------------	-------------------------------	------

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
-------	-------	----------	-----	------	-------------	-------	-------------

主要課題 IV 健やかに暮らす —いきいきと暮らすための健康と福祉の増進—

1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進

(1) 健康づくりの充実	① 市民が主体的に健康づくりに取り組むシステムづくり	80 地域組織活動の支援	健康づくり課	実施	・やちよ元気体操の普及と住民主体の健康づくりを推進する人材を育成するため「やちよ元気体操応援隊養成講座」を実施。応援隊が実施する体操グループに対し活動支援を行った。〔応援隊登録者数・体操グループ数〕H28年度382人・65グループ、29年度423人・75グループ、30年度513人・90グループ、R元年度506人・96グループ、2年度455人・94グループ ・食をきっかけとした住民主体の健康づくりを推進するため「男の料理塾」を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により講座は中止とした。卒業生による自主グループ活動も新型コロナウイルス感染症のため活動を休止している。〔自主グループ数〕H29年度1グループ、30年度2グループ、R元年度3グループ、2年度3グループ	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた養成講座は中止し、依頼のあった1グループに対してのみ実施した。既存のグループへの支援は、訪問回数を2回に減らして行った。 食をきっかけとした住民主体の健康づくりの推進については、男の料理塾を経て活動していた自主グループは新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止している。今後、活動再開の目途がつけば、公民館を拠点とする自主グループが増えるよう公民館と連携した取組みを働きかけたい。	現状維持
		81◆1 スポーツ・レクリエーション事業の実施 (1) 市民体カテスト	文化・スポーツ課	未実施	市民が体力・運動能力の現状を明らかにするため、スポーツ庁が示す「新体カテスト実施要項」に基づいた市民体カテストを実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止した。 〔体カテスト会参加者数〕H28年度53人、29年度56人、30年度36人、R元年度28人、2年度未実施	市民が自分の体力に関心を持ち、日常生活に生かすきっかけづくりになることから、今後も市民に参加を呼びかける。	未実施・休止・廃止
		81◆2 (2) 市民レクリエーション大会	文化・スポーツ課	未実施	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての大会が中止。 〔グラウンドゴルフ大会参加者数〕H28年度155人、29年度156人、30年度136人、R元年度160人、2年度未実施 〔インディアカ大会参加者数〕H28年度270人、29年度245人、30年度230人、R元年度182人、2年度未実施 〔レクダンス大会参加者数〕H28年度53人、29年度51人、30年度44人、R元年度77人、2年度未実施 〔パークゴルフ大会参加者数〕H28年度36人、29年度32人、30年度44人、R元年度40人、2年度未実施 〔ターゲットパードゴルフ大会参加者数〕H28年度19人、29年度22人、30年度22人、R元年度・2年度未実施 〔やちよ歩こう会参加者数〕H28年度25人、29年度28人、30年度27人、R元年度・2年度未実施	市民の心身の健康支援となるレクリエーション活動の活性化を図り、楽しみや生きがいを見つける機会を提供する場となることから、引き続き大会を開催していく。	未実施・休止・廃止

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	81◆3 (3)ニューリバーロード レース in 八千代	ツ 課 文 化 ・ ス ポ ー ツ	未実施	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。 〔参加者数〕H28年度5,082人、29年度5,461人、30年度4,484人、R元年度4,496人、2年度未実施	市民の体育・スポーツ意識の高揚と健康の増進、体力向上を目的としていることから、今後も継続して開催していきたい。	未実施・休止・廃止
	81◆4 (4)ウォークラリー大会	ツ 課 文 化 ・ ス ポ ー ツ	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響や、主催団体である八千代市レクリエーション協会において、大会運営の人員が不足したことから実施できなかった。 〔参加者数〕H28年度192名、29年度162名、30年度102名、R元年度・2年度未実施	市民が気軽に参加できるイベントであったが、開催することができなかった。	未実施・休止・廃止
	82 女性の健康の保持増進対策の推進	健 康 づ く り 課	実施	・若い子育て中の親世代への周知として、母子保健事業でがん検診に関するチラシ配布を実施した。 ・小学5・6年生、中学生の保護者宛にがん検診の受診勧奨に関するチラシを配布した。また、乳がん検診の対象年齢に該当する人(41歳)に無料で受けられるクーポン券を、子宮がん検診前年度未受診の30代奇数年齢の人に受診勧奨のはがきを送付した。 〔小中学生保護者向けチラシ配布件数〕H28年度9,067件、29年度8,909件、30年度8,758件、R元年度8,615件、2年度8,690件 〔乳がん検診クーポン券送付件数〕H28年度1,563件、29年度1,434件、30年度1,421件、R元年度1,366件、2年度1,398件 〔子宮がん検診受診勧奨はがき送付数〕H28年度未実施、29年度4,380件、30年度4,499件、R元年度4,424件、2年度4,623件 ・電話相談・来所相談において、必要に応じて医療機関及び相談窓口として更年期外来等の情報提供を行ったほか、がん集団検診時にチラシを設置し、相談機関の周知を行った。 〔女性の健康に関する相談件数(電話・来所)〕H28年度4件、29年度1件、30年度16件、R元年度8件、2年度4件	女性のがん検診の受診勧奨を通じて、自分の健康に関心を持つことができるよう支援することができた。相談件数が少ないが、適宜情報提供を行っており、女性の健康の保持増進対策を推進した。 がんの好発年齢である、小中学校の保護者へのチラシ配布は、早期発見・早期治療の大切さを伝え、自身の健康に関心を持つきっかけとなっていることから、引き続き実施する。長引くコロナ禍で、女性に経済的困窮や生活不安によるメンタルや健康状態が危惧されていることから、今後もメンタルを含めた電話や来所相談等の周知を図る。女性の健康づくりの推進については、がん検診の受診状況や市民からの要望等を考慮し、ニーズに応じた受けやすい仕組みや内容を検討する。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

② 健康診査・健康相談等の実施	83◆1 健康診査の実施 (1) 特定健康診査・特定保健指導	健康づくり課	実施	<p>40歳以上の八千代市国民健康保険加入者及び生活保護受給者、並びに後期高齢者医療制度加入者に受診券を個別送付した。その後健診結果から特定保健指導及び保健指導対象者に利用券を送付した。</p> <p>〔特定健康診査及び健康診査受診券送付数/受診者数〕H28年度男25,387人女29,758人/男6,786人女8,482人, 29年度男24,770人女29,197人/男6,599人女8,448人, 30年度男24,589人女29,244人/男6,904人女8,835人, R元年度男24,515人女29,406人/男6,682人女8,482人, 2年度男24,438人女29,449人/男5,944人女7,563人</p> <p>〔特定保健指導及び保健指導利用券送付数/利用者数〕H28年度902人/136人(15.1%), 29年度854人/136人(15.9%), 30年度887人/147人(16.6%), R元年度874人・166人(19.0%), 2年度873人/217人(24.9%)</p>	<p>特定健診等については、コロナ禍において定期的な受診が、自覚症状の現れにくい生活習慣病の早期発見や予防につながることを広報や市ホームページ、健康情報メールで伝えた。受診率向上対策として、令和2年度から新たにJA健診からの特定健診該当者の受診結果登録、AIを活用し未受診者の特性に応じた受診勧奨を実施した。しかし、新型コロナウイルスの感染防止対策として、個別検診を7月から、集団検診を9月からとし、集団検診は回数減らし定員も制限したため受診者数は減少した。特定保健指導及び保健指導については、集団検診会場での初回面接の分割実施の利用者は多いが、全体的な利用率は伸び悩んでいる。</p>	現状維持
	83◆2 (2) 各種がん検診	健康づくり課	実施	<p>・受診券及び案内を年齢や性別に応じた対象者に個別送付し各種がん検診を実施した。厚生労働省の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、対象者にクーポン券及びがん検診手帳の送付、受診の再勧奨を実施し、検診に関する知識の普及と受診勧奨を行った。がん検診の精密検査結果未把握者について、医療機関に確認することで精密検査の受診勧奨と結果把握に努めた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策として、個別検診は7月から、集団検診は9月からとし、集団検診の定員の削減等に取り組んだ</p> <p>〔胃がん検診受診者数〕H28年度男6,084人女8,530人, 29年度男5,286人女7,656人, 30年度男5,299人女7,627人, R元年度男4,639人女6,801人, R2年度男4,014人女5,425人</p> <p>〔大腸がん検診受診者数〕H28年度男7,503人女11,337人, 29年度男7,261人女11,067人, 30年度男7,536人女11,203人, 元年度男7,254人女11,017人, 2年度男6,394人女9,464人</p> <p>〔乳がん検診受診者数〕H28年度7,430人, 29年度6,574人, 30年度7,129人, R元年度6,868人, 2年度5,355人</p> <p>〔子宮頸がん検診受診者数〕H28年度7,592人, 29年度6,869人, 30年度7,565人, R元年度7,047人, 2年度5,970人</p> <p>〔肺がん検診受診者数〕H28年度男7,953人女12,019人, 29年度男7,730人女11,883人, 30年度男8,001人女12,127人, R元年度男7,754人女11,774人, 2年度6,840人女10,233人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、検診の開始時期の延期や、集団検診の定員を削減したため、受診者数が減少した。コロナ禍による受診控えも考えられるため、定期的な検診受診の大切さや、感染防止対策を講じて実施していることを併せて、広報・市ホームページ・やちよ健康情報メール等を活用して周知する必要がある。</p>	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	83◆3 (3)成人歯科健康診査	健康づくり課	実施	40歳以上の市民を対象に委託歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、個別検診は7月からとした。〔成人歯科健康診査受診者数〕H28年度2,520人、29年度2,415人、30年度2,327人、R元年度2,308人、2年度1,907人	新型コロナウイルス感染症対策として、検診の開始時期を延期したため、受診者数が減少した。コロナ禍による受診控えも考えられるため、定期的な健診受診の大切さや、感染防止対策を講じて実施していることを併せて、広報・市ホームページ・やちよ健康情報メール等を活用し、受診勧奨を行った。	現状維持
	84◆1 健康相談の実施 (1)電話・来所による健康相談	健康づくり課	実施	電話や来所による相談を実施し、必要に応じ受診勧奨や専門相談機関の紹介等を行った。相談内容は、電話・来所とも生活習慣病に関すること、メンタルヘルスに関することが上位を占めている。健康相談の窓口については、広報や市ホームページ、健康講座や健康診査等に参加した市民にチラシ配布で継続的に周知した。 〔電話相談件数〕H28年度238件、29年度221件、30年度172件、R元年度170件、2年度185件 〔来所相談件数〕H28年度52件、29年度47件、30年度48件、R元年度41件、2年度22件	市民の健康についての不安を解消できるよう相談に対応し、市民の健康づくりについて支援することができた。引き続き、やちよ健康情報メール等も活用し、周知に努める。専門機関に関する情報は常に変化することから、相談者に適切な情報が提供できるよう情報収集にも努める。	現状維持
	84◆2 (2)精神保健福祉相談	障害者支援課	実施	メンタルヘルスほっと相談は、日常業務の中で対応が可能なことから廃止した。相談業務の一環として、関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携を図り支援を継続している。 〔電話相談件数〕H28年度2,444件、29年度2,227件、30年度1,812件、R元年度2,168件、2年度2,185件 〔来所相談件数〕H28年度2,871件、29年度3,181件、30年度3,184件、R元年度2,587件、2年度1887件 〔訪問件数〕H28年度732件、29年度716件、30年度660件、R元年度727件、2年度574件	障害を抱えながらも地域で安心して生活が送れるよう支援することができた。	現状維持
	84◆3 (3)市職員のメンタルヘルス相談	職員課	実施	カウンセラーによる月1回のカウンセリング事業—こころの窓口—を実施。 〔利用者数・延べ利用者数〕H28年度15人・45人、29年度18人・34人、30年度20人・36人、R元年度17人・36人、2年度22人・35人	対象者に毎月事業の周知を行っていることから、適切な利用がされていると考える。今後も必要な人には、個別に推奨するなどの支援・周知を図っていききたい。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

③ 心身の健康づくり対策の充実	85 健康に関する知識の普及・啓発	男女共同参画センター	実施	・健康づくり課との共催で開催している健康づくり講座は中止。 〔参加者数〕H28年度12人、29年度14人、30年度21人、R元年度25人、2年度未実施 ・コロナ禍において、女性に対するストレスや体調不良等が課題の一つになっていることから、関連する講座を開催した。①女性のためのメンタルケア講座～不安との付き合い方～ 〔参加者数〕9人、②プチ不調は体からのサイン！働く女性のライフステージと健康〔参加者数〕6人	感染症対策による制限等があったが、企画変更を行い、状況に対応した講座を開催することができた。	積極的な推進
	85◆1 健康に関する知識の普及・啓発 (1)健康教育	健康づくり課	実施	講座を通じて、高齢者の健康づくりに必要な運動や口腔ケアの方法、食生活等に関する知識の普及啓発を図った。 〔介護予防を目的とした講座実施回数・延べ参加者数〕H28年度120回・4,156人(男1,365人女2,791人)、29年度116回・3,380人(男1,069人女2,311人)、30年度113回・4,097人(男1,238人女2,859人)、R元年度84回・1,909人(男677人女1,232人)、2年度20回394人(男70人女324人)	介護予防を目的とした取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施回数が減少した。今後は感染症の状況を見ながら取組む。	現状維持
	85◆2 (2)こころの健康づくりフェア	障害者支援課	未実施	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会は実施しなかった。 〔参加者数〕H28年度34人、29年度79人、30年度40人、R元年度・2年度中止	昨年度に引き続き講演会を実施することができなかったが、今後も多くの方に興味を持ってもらい、参加してもらえるような講演会を企画し、障害者理解啓発につなげていきたいと考えている。	未実施・休止・廃止
	85◆3 (3)市職員のメンタルヘルス研修	職員課	実施	〔研修名・参加者数〕「新規採用職員研修Ⅰ心と体の健康管理」中止、「管理監督者が果たすべき安全配慮義務及びハラスメント防止対策研修」20人(男性15人女性5人)、「主事研修 心のセルフケア」27人(男性20人女性7人)、「主査研修 監督者が担う部下のメンタルセルフケア対策」7人(男性7人)、「主査補研修 メンタルヘルスの基礎知識」28人(男性23人女性5人)、「公募型研修 こころを整える実践研修」11人(男性6人女性5人)	メンタルヘルスについての識見を深め、予防対策等について共通理解を図ることができた。	現状維持
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実	母子保健課	実施	・妊娠届出書を提出した妊婦に、母子健康手帳を交付した。交付の際は、専門職が面接を行い、必要な保健指導や母子保健事業、子育て支援事業についての情報を提供。また、養育支援が必要な家庭を早期に把握し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターや医療機関等と連携して妊娠期からの継続支援につなげた。 ・市役所・市内医療機関・近隣市医療機関等に母子健康手帳の周知ポスターを掲示し、妊婦向けのチラシを配布した。 ・令和2年度の母子健康手帳の交付は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と妊婦の健康及び安全面に配慮し、母子保健課と子ども支援センターすてっぷ21勝田台(予約制)の2か所で行った。交付場所変更の周知は、医療機関及び本庁舎にてポスターの掲示と周知文の配布、市ホームページ及び広報やちよに掲載した。交付時には、面接時間の短縮やパーティションの設置、面	交付時の面接を保健師等の専門職が実施することで、妊娠初期から妊婦と関わりを持ち、医療機関や関係機関と連携しながら、継続した支援につなげることができた。また、妊婦のニーズにあった情報(産後支援が得られない場合は産後ケア事業やファミリー・サポート・センターの紹介など)を提供し、必要に応じて沐浴指導などを家庭訪問や来所相談という個別支援で対応することにより、妊婦の不安や悩みの軽減・解消に努めることができた。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				<p>接室の物品の消毒を行い、感染防止対策を講じた。来所での交付に不安がある場合は、郵送で交付した。マタニティ広場についても中止した。</p> <p>〔妊娠届出数〕H28年度1,465件、29年度1,457件、30年度1,461件、R元年度1,438件、2年度1,410件 〔妊娠12週未満の届出数〕H28年度1,323件、29年度1,342件、30年度1,352件、R元年度1,336件、2年度1,309件</p>		
86◆2 (2) プレママ教室	母子保健課	実施	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止と、妊婦の健康及び安全面に配慮して教室は中止としたが、プレママ教室の内容を動画にして情報を提供した。また、広報やちよに「自宅で必要な情報を得られるように一妊娠期から乳幼児期までの情報をー」の特集記事を掲載して市民に周知した。</p> <p>〔実施回数〕H28年度10回、29年度10回、30年度10回、元年度9回(3月は新型コロナウイルスの影響で中止)、2年度未実施 〔参加者数・初妊婦数(参加率)〕H28年度152人・659人(23.1%)、29年度189人・680人(27.8%)、30年度165人・685人(24.1%)、R元年度133人・664人(20.0%) 〔不安が軽減できた人の割合〕H28年度95.4%、29年度96.8%、30年度96.3%、R元年度95.5% 〔友だちづくりのきっかけができた割合〕H28年度85.5%、29年度86.1%、30年度90.1%、R元年度81.2%</p>	<p>教室の開催は中止したが、妊娠期に必要な知識や相談機関等の情報を提供して、支援を行った。現在公開している動画等を引き続き周知していくと共に、新たな動画等の作成について検討する。</p>	現状維持	
86◆3 (3) 健康診査(妊婦・乳児・幼児)	母子保健課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「妊婦健康診査」経済的に負担なく、安心して受診できるように14回分の公費負担を行った。〔受診件数〕H28年度18,169件、29年度17,851件、30年度18,096件、R元年度17,789件、2年度16,774件 ・「乳児健康診査」経済的負担の緩和と乳児の疾患を早期発見、適切な治療につなげるため、2回分の公費負担を行った。〔受診件数〕H28年度2,898件、29年度2,908件、30年度2,710件、R元年度2,766件、2年度2,884件 ・幼児期における虐待の未然防止、疾患や発達の遅れを早期発見、適切な医療や療育機関につなげるため、1歳6か月と3歳児健康診査を行った。 <p>〔1歳6か月児健康診査(内科)受診件数〕H28年度1,498件、29年度1,533件、30年度1,575件、R元年度1,426件、2年度1,526件 〔3歳児健康診査(内科)受診件数〕H28年度1,564件、29年度1,536件、30年度1,474件、R元年度1,532件、2年度1,495件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てアンケート(厚生労働省の母子保健計画「健やか親子21(第2次)」に基づく)」結果と健診の間診内容等から必要な人に対し、対応方法を検討し支援している。〔フォロー数〕H28年度608件、H29年度575件、H30年度651件、R元年度655件、2年度分は未完了 <p>*令和2年度の乳児健康診査、幼児健康診査は緊急事態宣言発生のため4月17日～5月27日の間は中止したが、受診期限を過ぎてしまった人のために、期間を延長して実施した。</p>	<p>健康診査で受診者の健康状態を把握することにより、疾患や発達の遅れを早期発見し、適切な治療や療育機関につなげることができた。妊娠期から乳幼児期までの切れ目ない支援を医療機関と連携を取りながら行うことで、養育者の子育てに関する不安等、個々のニーズに合わせる事ができた。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、適切な対応で全ての対象に健康診査の機会を保障することができた。</p>	現状維持	
86◆4 (4) 訪問事業(新生児・乳児家庭全戸等)	母子保健課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「新生児訪問」提出された出生連絡票を基に、家庭訪問が必要と判断された家庭及び妊娠期から継続支援をしている家庭に、保健師・助産師が家庭訪問を行った。育児相談、養育支援を行うと共に、産後うつ等の発見及び産婦の不安や疑問等が早期に解消できるように支援した。 	<p>出生連絡票の提出率は、過去5年間で最も高くなっており、気分が落ち込むことがある、涙もろさがある、イライラする等の記載がある人を把握し、早期に家庭訪問を行うことで、産後の支援につながっている。</p>	現状維持	

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				<p>[実施件数] H28年度 228件, 29年度 252件, 30年度 285件, R元年度 304件, 2年度 228件 [出生連絡票の提出率] H28年度 84%, 29年度 90%, 30年度 91%, R元年度 94%, R2年度 96%</p> <p>・「乳児家庭全戸訪問」生後4か月までの乳児がいる家庭を、地域に住む子育て経験者である母子保健推進員(継続支援者は保健師・助産師)が訪問した。保護者の不安や悩みを傾聴、子育てに関する情報提供を行うと共に、親子の心身の状況の把握・助言を行い、支援が必要な家庭を適切なサービスにつなげた。訪問で会えない場合は、その理由を把握し、予防接種の接種状況、乳児健康診査の受診状況等を確認、必要に応じて子ども相談センター等の関係機関との情報共有をするなど養育状況の確認を行った。[対象者数・訪問できた人数] H28年度 1,606人・1,526人(95%), 29年度 1,528人・1,455人(95%), 30年度 1,482人・1,416人(96%), R元年度 1,468人・1,410人(96%), 2年度 1,530人・1,090人(71.2%)</p>	<p>また、生後4か月までの乳児がいる71%の家庭に母子保健推進員等が訪問できたことで、母子保健の充実を図ることができた。</p> <p>(訪問率が低下した理由は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年4月から6月まで母子保健推進員による乳児家庭全戸訪問事業が中止になったため)。母子保健推進員の研修会についても、引き続き実施が難しい状況のため、少人数の地区別勉強会から再開を検討していく。</p>	
	86◆5 (5) 赤ちゃん広場(4か月・10か月児)	母子保健課	実施	<p>生後4か月と10か月に「赤ちゃん広場」を実施し、身体測定、発達確認を行うとともに、個別相談、親同士の交流の場を提供。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、「おかゆの作り方」の動画や「事故防止について」の資料を市ホームページに掲載して、情報発信を行った。また、個別対応として、事業で実施している子育てアンケートを郵送で行い、状況に応じて連絡するなど発達・発育・養育の把握に努め、不安の軽減や問題解決への支援を行った。</p> <p>[実施回数・参加者数・参加率(4か月/10か月)] H28年度 125回・1,251人・78%/125回・1,256人・76%, 29年度 133回・1,238人・82%/131回・1,217人・76%, 30年度 133回・1,172人・80%/124回・1,182人・77%, R元年度 114回・1,066人・83%/107回・1,039人・76%, 2年度未実施</p> <p>[個別相談者数(4か月/10か月)] H28年度 736人/769人, 29年度 780人/781人, 30年度 711人/749人, R元年度 657人/641人, 2年度未実施</p> <p>[不安が和らいだ割合(4か月/10か月)] H28年度 69%/82%, 29年度 76%/81%, 30年度 70%/75%, R元年度 65%/81%, 2年度未実施</p>	<p>赤ちゃん広場は中止したが、個別支援として子育てアンケートを活用した電話相談や、感染防止対策を講じた上で、家庭訪問・来所相談等を行った。</p>	現状維持
	86◆6 (6) 相談事業(食生活・歯科・電話)	母子保健課	実施	<p>食生活、歯科、その他育児などに関する相談を受け、子育てに関する不安や悩みに対応した。市民への電話相談の周知は、各種事業で伝えたほか、子育てハンドブック等の配布物・ホームページや広報・小中学生向けに配布する思春期の悩みに関するリーフレットに掲載して周知を行った。</p> <p>[食生活相談(面接)] H28年度 85件, 29年度 42件, 30年度 29件, R元年度 63件, 2年度 36件 [各事業での食生活相談(面接)] H28年度 1,143件, 29年度 1,129件, 30年度 1,145件, R元年度 1,039件, 2年度 39件 [食生活電話相談] H28年度 486件, 29年度 484件, 30年度 330件, R元年度 472件, 2年度 547件 [食生活家庭訪問] H28年度 15件, 29年度 8件, 30年度 36件, R元年度 38件, 2年度 28件 [歯科相談(面接)] H28年度 28件, 29年度 23件, 30年度 32件, R元年度 13件, 2年度 13件 [歯科電話相談] H28年度 78件, 29年度 55件, 30年度 75件, R元年度 50件, 2年度 117件 [歯科家庭訪問] H28年度 5件, 29年度 1件, 30年度 11件, R元年度 4件,</p>	<p>食生活・歯科・育児等に関する電話相談の件数は増加しており、相談者からの妊娠・出産・子育てに関する悩み等に専門職が対応することで、問題解決や不安の軽減を図ることができた。また、継続した支援にも繋がっており、個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。</p> <p>引き続き事業の周知をホームページや広報で行っていく。</p>	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				2年度3件 [電話相談(育児相談等)] H28年度9,141件, 29年度10,784件, 30年度11,492件, R元年度11,850件, 2年度12,456件		
	86◆7 (7) ブックスタートの推進	生涯学習振興課(図書館)	実施	絵本を通して親子の心ふれあうひとときを持つきっかけを作るため、「4か月児赤ちゃん広場」等でブックスタートパックを配布した。 〔配布件数〕H28年度1,779件, 29年度1,642件, 30年度1,526件, R元年度1,451件, 2年度286件(4か月児赤ちゃん広場で配布予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったため、令和3年度配布に変更。早めの受け取りを希望する場合のみ母子保健課等で配布した)	新型コロナウイルス感染症の影響で、配布方法の見直しや準備等が必要となったが、希望する保護者にブックスタートパックを配布し、乳幼児期の子育て支援につなげられた。	現状維持
	87 食育の取組	母子保健課	実施	・「やちよ食育ネットワーク協議会」市内小学校で農業生産者と共に食育授業を行う食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。令和2年度は、小学校22校中19校で農業生産者と関わりのある食育を実施することができた。広報誌「やちよ食育マガジン第27報」を発行。企画・運営・評価を「やちよ食育ネットワーク協議会」で実施した(書面開催)。 ・「妊娠期から継続した食育事業」妊娠期からの継続した食育事業を子ども支援センター・地域子育て支援センター(子ども保育課)と連携して実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一部を除いて中止。 〔プレママ教室参加者数〕H28年度152人, 29年度189人, 30年度165人, R元年度133人(3月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止), 2年度未実施 〔4か月・10か月児赤ちゃん広場参加者数〕H28年度2,507人, 29年度2,455人, 30年度2,354名, R元年度2,105人(3月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止), 2年度未実施 〔もうすぐ1歳半おやこ広場参加者数〕H28年度722人, 29年度726人, 30年度707人, R元年度119人(全数対象から申し込み制に変更), 2年度未実施 〔みんなで食育事業〕H28年度33回436人, 29年度28回329人, 30年度22回169人, R元年度17回144人, 2年度未実施 ・公民館・サークル・学童保育等からの依頼食育講座〔参加者数〕H28年度4回46組, 29年度2回14組, 30年度13回374人, R元年度16回528人, 2年度2回12人	「やちよ食育ネットワーク協議会」について、令和2年度は、5月まで学校が休校となっていたため学校判断での開催となった。実施した学校では、直接農業生産者と連絡を取るなど主体的な取組ができていた。 「妊娠期から継続した食育事業」については、一部を除いて中止となったが、資料や動画を作成して市ホームページに掲載し、安心して妊娠、出産、子育てができるよう情報提供に努めた。	現状維持
		農政課	実施	母子保健課が事務局となっている八千代食育ネットワーク協議会・分科会における会議に参加し、情報共有を図った。 ・「やちよ食育ネットワーク協議会」H28年度3回, 29年度3回, 30年度2回, R元年度2回, 2年度1回(書面開催) ・「やちよ食育ネットワーク分科会」H28年度から各年度2回, 2年度1回(書面開催) ・「授業視察」H29年度1回, 30年度4回, R元年度1回, 2年度0回	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度においては書面で会議を行い、授業の視察は自粛した。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

			保健体育課	実施	・市内産の食材を年間通じて学校給食に使用。市内産エコ人参を使用して「学校給食エコ人参ウィーク」等、特色のある取組みを実施した。 ・児童生徒の野菜への関心を深めるために、給食だよりに野菜のコーナーを設けて「野菜パクパク元気モリモリ」を掲載した。 ・農業生産者とのふれあい事業や、栄養教諭・学校栄養職員による授業を行った。(新型コロナウイルスの影響により、可能な範囲での実施となった)。	農業生産者とのふれあい事業では、農業への関心と食べ物への感謝の気持ちを高められた。また、給食を生きた教材として活用し、食に関する知識を得ることができた。	現状維持
②性に関する心とからだの保健事業の推進	88 思春期の生と性に関する取組		母子保健課	実施	・八千代市思春期保健ネットワーク会議を開催し、医療・教育分野、保護者など様々な立場から思春期保健について議論した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催とした。〔開催数〕H28年度5回、29年度5回、30年度4回、R元年度4回、2年度2回 ・性に関する相談機関や正しい知識が得られるサイトを紹介するリーフレットを中学1年生に配布した。〔配布数〕H28年度7,654枚、29年度3,426枚、30年度3,248枚、R元年度3,526枚、2年度3,890枚 ・保護者への情報提供として、思春期保健ネットワークニュースレター第18報を市内の小中学校保護者等に配布した。〔配布数〕H30年度10,500枚、R元年度10,342枚、2年度10,423枚 ・八千代市オリジナル生と性の教育教材のデータを更新した。	書面による思春期保健ネットワーク会議において、コロナ禍での思春期の子どもや保護者の様子、思春期保健で大切にしていきたいことを共有すると共に、委員の活動を把握することができた。引き続き具体的な活動方法の検討が課題となっている。	現状維持
			課 保健体育	実施	感染症対策を徹底しながら、可能な範囲で関係機関と連携し、全ての子どもたちが自分自身の生と性を大切にすることをめざし、性に関する心とからだの保健事業の推進を図った。	各校で地域の感染状況を十分に考慮した上で、保護者及び関係者に八千代市の現状・事業・正しい知識等を伝えることができた。	現状維持
	89◆1 性教育の推進 (1)小中学校における性教育の推進		保健体育課	実施	各小中学校における性教育の推進が図れるよう、思春期保健ネットワーク会議と連携し、オリジナル教材の見直しや教育プログラムの検討を行う作業部会に協力している。授業の実施状況やオリジナル教材内の指導案について使用後のアンケート調査と結果の分析を行った。	オリジナル教材の紹介を積極的に行うことにより、小中学校における性教育の推進につながった。	現状維持
	89◆2 (2)公民館における性教育の推進		(公民館) 生涯学習振興課	実施	思春期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育講座の中で性に目覚める子どもとの関わり方や問題などについて学んだ。〔受講者数〕H28年度245人、29年度242人、30年度80人(睦公民館「コスモス学級」未実施)、R元年度242人、2年度66人	家庭教育講座への参加者が少ないことから、周知方法等の検討が必要である。	現状維持
2 自立した生き方を支える福祉の充実							
整備 育(1)多様な子 育(2)環境の子	のたズ①保育 のたズ②保育 のたズ③保育 のたズ④保育 のたズ⑤保育 のたズ⑥保育 のたズ⑦保育 のたズ⑧保育 のたズ⑨保育 のたズ⑩保育	90◆1 保育園事業の充実 (1)障害児保育の推進	子ども保育課	実施	保育を必要とする障害児の受け入れを行った。〔受入数〕H28年度公立7園25人・私立12園26人、29年度公立8園24人・私立9園20人、30年度公立7園29人・私立9園15人、R元年度公立7園25人・私立11園25人、2年度公立7園26人・私立13園29人	保育を必要とする障害児の受け入れにより子育て支援の充実を図った。障害児の受け入れには、保育士の加配等を要することから、保育体制の確保に課題がある。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	90◆2 (2) 保育園の地域開放の促進	(保育園) 子ども保育課	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響で、保育園の地域開放は中止となった。	可能な範囲で子育て家庭への情報発信を検討する必要がある。	未実施・休止・廃止
	90◆3 (3) 延長保育の推進	子ども保育課	実施	女性就労の増加や就労形態の変化等に対応するため、保育園等において午後7時(一部8時)までの時間外保育を実施し、子育て支援の充実を図った。 〔実施園数()内は8時まで〕H29年度公立8園(2園)・私立保育園等26園、30年度公立8園(2園)・私立保育園等28園、R元年度公立8園(2園)・私立保育園等34園、2年度公立保育園8園(2園)・私立保育園等37園	保育園での時間外保育の実施により、子育て支援の充実を図ることができた。拡充等に当たっては保育士の確保等が課題である。	現状維持
	90◆4 (4) 産休明け保育の推進	育課 子ども保	実施	女性が出産後も就労を継続できるよう産休明け保育を実施した。	産休明け保育の実施により子育て支援の充実を図ることができた。定員数があるため待機児童の解消が課題である。	現状維持
	90◆5 (5) 乳児保育定員の拡充	育課 子ども保	実施	保育園等において乳児保育定員数の拡充に努めた。〔保育園等の定員数〕H29年度0歳児261人・1歳児383人、30年度0歳児273人・1歳児406人、R元年度0歳児303人・1歳児465人、2年度0歳児331人・1歳児512人	乳児保育定数の拡充に努めたが、働きながら子育てする女性の増加等により、待機児童解消には至っていない。	現状維持
	90◆6 (6) 私立保育園等に対する助成	子ども保育課	実施	八千代市新保育ガイドラインに沿った保育内容の充実と、施設運営の円滑を図るため私立保育園及び認定こども園に対し助成を行った。また、保育士の処遇改善を目的とした手当の支給により保育士の確保及び離職防止を図り保育体制の確保に努めた。	施設運営の円滑化等を図るため、私立保育園及び認定こども園に対する助成及び保育士に対する手当の支給により、保育環境整備の充実等を図ることができた。保育園等の利用ニーズが増加している状況において、引き続き保育士の確保等に努め、保育体制の一層の充実を図ることが課題である。	現状維持
	90◆7 (7) 一時預かりの推進	子ども保育課	実施	保護者の短時間や断続的な就労、就学、冠婚葬祭等で一時的に育児が困難な場合の預かり、または保護者の育児に伴う負担解消等の保育ニーズに対し、一時預かりを行う民間保育園等に補助金を交付することにより、保育の環境整備を行い、子育て支援の充実を図った。	多様な保育ニーズに対し、一時預かりを行う民間保育園等に補助金を交付することにより、保育の環境整備を行い、子育て支援を図ることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に事業を休止する施設や一定の利用制限を設けて事業を実施した施設があったため、例年よりも利用実績が大幅に減少した。今後も状況を見ながら対応していきたい。	現状維持
	90◆8 (8) 休日保育の実施	育課 子ども保	実施	休日における保護者の就労等により保育を必要とする児童を保育するため、ゆりのき台保育園で休日保育を実施した。〔延べ利用者数〕H29年度317人、30年度319人、R元年度308人、2年度157人	子育て支援の充実を図るため保育の環境整備として休日保育を実施しているが、職員体制の確保等が課題となっている。	現状維持

【資料 1】 令和3年度(2 年度実績) やちよ男女共同参画プラン第 2 期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	91 病児保育事業	子ども保育課	実施	病気の回復期または回復期に至っていない児童に対し、集団保育等が困難で保護者が就労等により家族で保育を行うことが困難な児童の一時的な預かりを行うことで子育て支援の充実を図った。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に事業を休止する施設や一定の利用制限を設けて事業を実施した施設があったため、例年よりも利用実績が大幅に減少した。〔延べ児童数〕H28 年度 1,384 人、H29 年度 1,715 人、30 年度 1,461 人、R 元年度 1,369 人、2 年度 136 人	今後も状況を見ながら、取組んでいく。	現状維持
	92 ファミリー・サポート・センター事業の充実	子ども保育課(すてらぶ 21)	実施	<ul style="list-style-type: none"> 産後及び育児支援として保育ニーズに対応した相互援助活動を実施した。〔会員数〕H29 年度 798 人(依頼会員 660 人、両方会員 45 人、協力会員 93 人)、30 年度 915 人(依頼会員 777 人、両方会員 42 人、協力会員 96 人)、R 元年度 959 人(依頼会員 825 人、両方会員 46 人、協力会員 88 人)、2 年度 988 人(依頼会員 853 人、両方会員 36 人、協力会員 99 人) 子ども支援センター及び地域子育て支援センターの利用者を対象に「おしえて!ふあみさぼ」を開催した。〔回数・参加者数〕H29 年度 7 回・67 人、30 年度 14 回・148 人、R 元年度 7 回・84 人、2 年度は未実施 産後及び育児支援に係る基礎研修会、交流会等を開催した。〔回数・参加者数〕H29 年度 14 回・238 人、30 年度 13 回・217 人、R 元年度 12 回・159 人、2 年度 5 回・24 人 	ファミリー・サポート・センター事業の周知や研修の実施により、地域の会員同士の相互援助活動の推進を図ることができた。事業周知等による子育て支援の充実を図ると共に、多様な保育ニーズに対応するために、協力会員の拡充及びスキルアップが課題である。	現状維持
② 学童保育の充実	93 学童保育事業の充実	子育て支援課	実施	放課後帰宅しても保護者の就労等の理由により、保育を受けられない小学 1 年生から 6 年生までの児童を 26 か所の学童保育所において指導員が集団保育し児童の健全育成に努めた。また、待機児童解消のため、小学校の余裕教室の活用や施設の建設等により定員の拡充を行った。〔学童保育所数〕H28 年度 23 か所、29 年度 24 か所、30 年度 24 か所、R 元年度 25 か所、2 年度 26 か所 〔定員・在籍児童数〕H28 年度 1,180 人・1,143 人、29 年度 1,325 人・1,278 人、30 年度 1,325 人・1,297 人、R 元年度 1,475 人・1,427 人、2 年度 1,585 人・1,555 人	父母の就労支援や社会参加しやすい環境づくりを図ることができた。待機児童解消には至っていないため、引き続き学童保育所の整備を検討する必要がある。	現状維持
実 支 援 ③ 子育ての充実	94 安心して子育てができる地域づくり	子ども保育課(すてらぶ 21)	実施	地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点に母子保健課と連携して、子育て支援事業を実施し妊娠出産、乳幼児期を通じた支援を行った。また、日々の遊びと交流の広場の利用につなげることで、親子が安心して遊べ親同士が交流する場や機会を提供すると共に相談業務や情報提供も行った。	子育て支援事業を実施し、妊娠出産、乳幼児期を通じた子育て支援の推進を図り、安心して子育てできる地域づくりに努めた。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

			母子保健課	実施	<p>子ども保育課と連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠期から出産、乳幼児期までの切れ目のない支援を実施した。また、日々の遊びと交流の広場の利用につなげることで、親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供し、子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業として、様々な相談やニーズに応じた支援や情報提供を行った。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター 〔開放延べ日数・利用者数〕H28年度1,506日・60,948人、29年度1,388日・54,087人、30年度1,334日・36,710人、R元年度1,058日・29,536人、2年度857日・10,652人 出前「遊びと交流の広場」〔開催・利用者数〕H28年度11か所・7,574人、29年度13か所・7,543人、30年度11か所・6,745人、R元年度12か所・5,479人、2年度3か所・91人 	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業があったが、感染防止対策を講じて、限られた条件の中で実施した。</p> <p>母子保健課と子ども保育課が連携することで、切れ目のない支援につなげ、子育て支援の充実を図ることができた。</p>	現状維持
	95 子ども相談センターの充実		子ども福祉課(子ども相談センター)	実施	<p>・18歳未満の子どもと家庭(妊産婦を含む)の総合相談窓口として、保健師、教員経験者、精神保健福祉士、保育士、社会福祉主事の専門職と家庭相談員が、電話・面接・家庭訪問の個別支援と保護者向けのグループ支援を行った。また、児童虐待の未然防止・対応に取り組み、子どもの健全育成を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要保護児童対策地域協議会の運営と関係機関向け虐待防止研修の開催等により、関係機関の連携強化と専門性の向上に努めた。 〔要保護児童対策地域協議会委員数〕H28年度60人、29年度59人、30年度62人、R元年度70人、2年度69人 〔関係機関向け研修及び啓発回数・参加者数〕H28年度21回595人、29年度17回529人、30年度20回471人、R元年度14回362人、2年度1回36人 保護者向けに講座を開催し、メンタルヘルスの向上と虐待防止を図った。 <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>〔子育て講座の開催日数〕H28年度3日、29年度8日、30年度9日、R元年度6日、2年度未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども相談センターへの相談 〔相談件数・延べ対応件数〕H28年度1,092件・26,307件、29年度1,122件・30,070件、30年度1,473件・41,213件、R元年度1,675件・51,874件、2年度1,758件・55,306件 〔相談員数〕H28年度8人、29年度10人、30年度11人、R元年度14人、2年度14人 	<p>関係機関と連携しながら、子育てに関する相談・援助活動の充実を図ることができた。</p> <p>八千代市要保護児童対策地域協議会において「八千代市子ども虐待防止対応マニュアル」を改訂し、関係機関に配布すると共に連携体制を強化することができた。</p>	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		96 地域子育て支援センター機能の充実	21 子ども保育課(すてっぷ)	実施	新型コロナウイルス感染症の影響で、マタニティ広場や子育てワークショップ「おしゃべり広場」等の交流の場を提供はできなかったが、希望者への個別相談や電話相談に随時対応し、専門性を生かした情報提供を行うなど子育て支援の充実を図った。 〔マタニティ広場開催数・延べ参加者数〕H29年度36回・107人、30年度22回・86人、R元年度11回・52人、2年度未実施 〔おしゃべり広場開催数・延べ参加者数〕H29年度18回・98人、30年度15回・63人、R元年度9回28人、2年度未実施	親子が安心して交流する場を提供すると共に相談業務、情報提供、親の学習支援などにおいて、保育士、栄養士、看護師等による専門性を活かした支援を行い、地域子育て支援センターの機能充実について推進を図ることができた。	現状維持
④ 児童の健全育成・親の交流機会の充実		97◆1 講座等の開催 (1)子ども教室・家庭教育講座等	課(公民館)	実施	児童の健全育成を目指し、子どもの発達段階に合わせた親の関わり方を学ぶ機会や、子育てに関する情報の提供や親同士の交流の場として講座を開催。 〔保護者対象講座(家庭教育講座等)・延べ参加者数〕17講座66人 〔親子対象講座・延べ参加者数〕25講座288人 〔青少年対象講座・延べ参加者数〕44講座388人	主催講座の実施により、児童の健全育成及び親同士の交流の充実を図ることができた。家庭教育講座への参加者数の減少は課題である。	現状維持
		97◆2 子どもと本の講座・おはなし会	課(図書館)	実施	・0~1歳、2~3歳、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会の定期開催 〔開催数〕H28年度406回、29年度532回、30年度503回、R元年度483回、2年度369回 ・ボランティア向けの読み聞かせ講座、本を使った調べ学習等の各種講座を開催した。	さまざまなおはなし会やイベントを実施し、図書館での交流の機会を設けることができた。より多くの人に参加してもらえるように、広報活動を活発に行っていきたい。	現状維持
		98 親学習支援事業の実施	子ども保育課(すてっぷ21)	実施	新型コロナウイルス感染症の影響により「みんなで食育」等の参加型・体験型の学習機会は提供できなかったが、子育てのワンポイントをリーフレットにまとめ紹介する「子育て応援ポケット」で「遊びと交流の広場」の利用者に「中央ポケット」として、季節に合わせた健康教育等について「子育て応援ポケット」を活用した情報提供等をした。 〔みんなで食育実施回数・延べ参加者数〕H28年度33回436人、29年度28回329人、30年度22回111人、R元年度17回93人、2年度未実施 〔おしゃべり広場実施回数・延べ参加者数〕H28年度21回102人、29年度18回98人、30年度15回63人、R元年度9回28人、2年度未実施 〔中央ポケット実施回数・延べ参加者数〕H28年度92回952人、29年度65回578人、30年度75回578人、R元年度54回505人、2年度未実施	子育てをする親に対し、参加・体験型の学習機会を提供することはできなかったが、リーフレットなどによる情報提供を行ったことで、子育て支援の充実を図ることができた。	現状維持
(2)ひとり親家庭の自立の推進	① 経済の安定と住環境の整備	99 母子・父子・寡婦福祉資金の貸付	子ども福祉課	実施	母子家庭・父子家庭又は寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉の向上を図るため、各種資金の無利子又は低利子での貸し付けを行った。〔件数〕H28年度20件、29年度15件、30年度7件、R元年度4件、2年度3件	県の貸付審査の前に、貸付希望者と事前相談を行い、制度説明や申請書類等の作成を補助し、申請が受理されるよう支援したことで、貸付が必要な人に対して生活の安定・向上を図ることができた。	現状維持
		100 ひとり親家庭等の医療費助成	課(子ども福祉)	実施	ひとり親家庭等の母・父及び児童に対し、児童が満18歳に達する年度(一定の障害を有する場合は20歳に達した月末)まで、医療費の一部を助成した。〔助成を受けた人数〕H28年度1,515人、29年度1,520人、30年度1,492人、R元年度1,503人、2年度1,614人	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。今後、給付請求手続きの簡素化により請求率を上げることで、さらに経済的負担の軽減を図っていく。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	101 ひとり親家庭の児童育成のための経済的支援の充実	子ども福祉課	実施	低所得のひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給を行った。 〔支給者数〕H28年度1,130人、29年度1,031人、30年度1,021人、元年度983人、2年度959人	低所得のひとり親家庭に対して、経済的な支援をすることができた。今後も適切な受給資格者の受給を目指し、窓口での丁寧な制度説明と聞き取りを行っていく。また、生活状況の変動に応じて支給額を変動させるため、適正な状況把握に努める。	現状維持
	102 母子生活支援施設への入所	子ども福祉課	実施	生活上の問題で児童の養育が充分にできない場合、母子で施設に入所させ、生活指導、就労支援、保育の援助を行った。 〔入所世帯数〕H28年度2世帯、29年度1世帯、30年度1世帯、R元年度1世帯、2年度2世帯	母子が安心して生活できる場を長期的に提供し、生活の安定を支援した。令和2年度中の入所者の退所に向けても、適切な生活指導や就労支援等を行っていく。	現状維持
	103 高等職業訓練促進支援事業及び自立支援教育訓練助成事業	子ども福祉課	実施	・高等職業訓練促進給付金を、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士等の資格取得のために、養成機関で就業しているひとり親家庭の母親へ支給した。 〔支給者数〕H28年度1人、29年度2人、30年度4人、R元年度4人、2年度1人 ・自立支援教育訓練給付金を、雇用保険の教育訓練指定講座を受講したひとり親家庭の母親へ支給した。 〔支給者数〕H28年度2人、29年度2人、30年度2人、R元年度2人、2年度3人	高等職業訓練促進給付金の支給により資格取得のための生活費の負担を軽減することができた。自立支援教育訓練給付金の支給により、受講料の負担を軽減し、資格取得により増収が見込まれる状況となった。	現状維持
	104 母子世帯向け市営住宅	健康福祉課	実施	年3回、広報やちよ及び市ホームページを活用し、入居者の募集をした。 〔総入居件数(母子世帯数)〕H28年度22件、29年度21件、30年度16件、R元年度20件、2年度17件 〔新規入居件数(母子世帯向け)〕H28年度2件、29年度1件、30年度2件、R元年度2件、2年度1件	母子家庭の生活の安定のため住居を供給できた。引き続き母子家庭の住居の安定を図るため、母子世帯向け市営住宅を供給していく。	現状維持
②生活支援の充実	105 ひとり親家庭等日常生活支援事業	子ども福祉課	実施	義務教育終了前の児童がいるひとり親家庭で、親が急に病気にかかったり仕事が入ったりしたときなどに家庭生活支援員が児童の保育などの支援を行った。〔利用者数・延べ利用回数〕H28年度8人287回、29年度9人339回、30年度16人511回、R元年度9人378回、2年度9人267回	家庭生活支援員が窓口説明や電話連絡により丁寧な事業説明や家庭の状況把握に努めた。今後も家庭生活支援員とひとり親家庭が良好な関係を維持できるように支援し、円滑な利用につなげていく。	現状維持
	106 母子・父子自立支援員による情報の提供及び相談の充実	子ども福祉課	実施	ひとり親家庭の日常生活や子育て等に関する相談及び情報提供を行った。 〔生活一般の相談件数〕H28年度541件、29年度530件、30年度206件、R元年度207回、2年度226回 〔児童に関する相談件数〕H28年度58件、29年度76件、30年度20件、R元年度33回、2年度21回 〔経済的支援・生活支援に関する相談件数〕H28年度593件、29年度680件、30年度338件、R元年度303回、2年度403回 〔その他〕H28年度7件、29年度6件、30年度5件、R元年度9件、2年度7回	ひとり親家庭等に対し、窓口や電話で情報提供・相談を行うことで、各家庭の問題の発見や解決策の提案等の補助、各相談・関係機関への案内等を行い、経済的支援・生活支援からの自立や現状の改善につなげた。	現状維持

【資料 1】 令和3年度(2 年度実績) やちよ男女共同参画プラン第 2 期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	③ 緊急時対応の充実	107 緊急時の児童相談所との連携	子ども福祉課(子ども相談センター)	未実施	保護者の疾病や出産等により子どもの養育が困難な場合に、3 歳未満児を対象に子どもショートステイ事業を実施した。また、0~2 歳児で子どもショートステイ事業が利用できない場合や 3 歳以上の場合は、児童の情報を児童相談所に提供し、児童相談所が必要に応じて一時保護の措置を講じた。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で委託先施設が受け入れを中止したため休止とし、個別の相談により対応した。事業の利用が必要な家庭への周知として広報のほか、母子保健事業において事業案内リーフレットの配布を行った。 〔子どもショートステイ利用件数・延べ日数〕H28 年度 10 件 30 日、29 年度 10 件 23 日、30 年度 30 件 85 日、R 元年度 16 件 28 日、2 年度未実施 〔問い合わせ件数〕H28 年度 35 件、29 年度 45 件、30 年度 68 件、R 元年度 55 件、2 年度 7 件	委託先施設が受け入れを中止したことにより事業が休止になったことから、受け入れ施設との調整が課題である。	未実施・休止・廃止
(3) 高齢者・障害者福祉の充実	① 自立援助の推進	108 地域包括支援センターにおける相談事業	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施	高齢者の介護や老後の心配、健康や医療、福祉に関すること、その他生活全般の悩みについて、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が相談を受け、適切な相談機関や福祉・介護サービスなどの情報提供、助言を行った。 〔地域包括支援センター延べ対応件数(訪問・電話・来所等)〕H28 年度 56,659 件(7,703 件)、29 年度 61,960 件(7,601 件)、30 年度 67,910 件(8,199 件)、R 元年度 67,826 件(8,979 件)、R2 年度 68,170 件(8,198 件) * () は、そのうち大和田地域包括支援センターで受けたもの	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の困りごとの相談や支援を行うことができた。	現状維持
		109◆1 日常生活用具・補装具の給付と貸与 (1) 高齢者日常生活用具給付等事業	長寿支援課	実施	前年度の所得税が非課税の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者に対して、安心して生活ができるように、電磁調理器などの生活用具を給付した。 〔電磁調理器〕H28 年度 2 件、29 年度 3 件、30 年度 5 件、R 元年度 2 件、2 年度 9 件 〔火災報知器〕H28 年度 1 件、29 年度 1 件、30 年度 3 件、R 元年度 2 件、2 年度 6 件 〔自動消火器〕H28 年度 2 件、29 年度 1 件、30 年度 2 件、R 元年度 1 件、2 年度 3 件 〔老人福祉電話 貸与・取外し〕H28 年度 5 件、29 年度 0 件、30 年度 1 件、R 元年度 1 件、2 年度 4 件	高齢者の自立した生活を支援できた。	現状維持
		109◆2 (2) 日常生活用具費及び補装具費の支給	障害者支援課	実施	・身体障害者等の日常生活の向上を図るために、義肢・装具・車椅子・補聴器等の購入・修理する費用を支給した。 〔購入件数〕H28 年度 186 件、29 年度 188 件、30 年度 162 件、R 元年度 173 件、2 年度 116 件 〔修理件数〕H28 年度 95 件、29 年度 109 件、30 年度 90 件、R 元年度 105 件、2 年度 105 件 ・障害児・者、難病患者等の日常生活の便宜を図るために、盲人用時計・特殊寝台・電動式たん吸引器・ストーマ装具等を購入する費用を支給した。 〔支給件数〕H28 年度 1,439 件、29 年度 1,168 件、30 年度 1,248 件、R 元年度 1,239 件、2 年度 1,332 件	障害児・者、難病患者等の日常品の便宜を図り自立した生活を支援できた。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	110 入浴サービス事業	課 障害者支援	実施	入浴が困難な重度の障害児・者、難病患者の健康増進と介護者の負担を軽減するために、自宅で入浴サービスを行なった。 〔実人数・延べ利用件数〕H28年度10人・86件、29年度7人・68件、30年度6人・71件、R元年度9人・82件、2年度9人・78件	家族の介護負担を軽減することができた。利用者の生活の質の向上を図る上で、入浴回数が検討課題である。	現状維持
	111 介護用品購入費助成事業の実施	課 長寿支援	実施	自宅において寝たきり及び重度の認知症である高齢者を介護している家族に対して、紙おむつなどの介護用品購入費の一部を助成した。 〔延べ利用件数〕H28年度1,873件、29年度1,639件、30年度1,670件、R元年度1,583件、2年度1,628件	介護者及び家族の経済的・精神的負担が軽減された。	現状維持
	112 訪問指導の実施	健康づくり課	実施	保健師、理学療法士等が高齢者や障害者、重複受診・薬剤処方を受けている住民を訪問し、住環境や生活状況等の評価に基づき、これらの改善を目的とした提案または助言を行った。 〔実人数・延べ人数〕H28年度43人・74人、29年度27人・32人、30年度6人・9人、令和元年度10人・15人、2年度6人・7人	主に難病者や有病者となるリスクの高い住民に対する訪問を実施した。今後も誰もが住み慣れた地域で明るく生きがいのある生活を送れるよう、住民の健康増進に取り組んでいく。	現状維持
② 緊急時対応の充実	113◆1 短期入所・緊急一時保護 (1)高齢者緊急一時保護事業	長寿支援課	実施	緊急一時保護事業は、災害等の緊急時に適当な保護者がいない場合に一時的に市内の特別養護老人ホームで保護を実施する事業であることから、H28年度～R2年度の実績はない。	突発的な事案発生に備えて事業を継続する。	現状維持
	113◆2 (2)障害児・者の短期入所事業	障害者支援課	実施	障害児・者を在宅で介護している家族が、疾病等により介護が困難となったときに、短期間施設に入所させ、入浴・排泄及び食事の介護その他必要な支援を行った。 〔実人数・延べ件数〕H28年度93人・359件、29年度96人・377件、30年度109人・564件、R元年度127人・806件、2年度98人・505人	緊急時の対応ができた。今後も実施していく。	現状維持
	114 緊急通報システム設置	長寿支援課	実施	ひとり暮らしの高齢者が急病など緊急時に、即時に連絡が取れるよう緊急通報装置を設置した。また、付属機器として孤独死防止の見守り機器を設置した。〔新規設置数〕H28年度123件、29年度151件、30年度118件、R元年度124件、2年度170件	ひとり暮らし高齢者の安心・安全が図られた。	現状維持
		障害者支援課	実施	ひとり暮らしの身体障害者手帳1級・2級所持者が、急病などの緊急事態のときに即時連絡が取れるよう、緊急通報装置を設置した。通報があった場合に、委託業者により即時に必要な対応を行った。 〔実人数・延べ利用件数〕H28年度7人・78件、29年度8人・83件、30年度6人・64件、R元年度5人・57件、2年度4人・42件	障害者の緊急事態への不安を軽減し、ひとり暮らしの身体障害者の安心・安全が図られた。	現状維持
	115 徘徊高齢者家族支援サービス事業の推進	課 長寿支援	実施	専用端末の貸し出しを行った。 〔延べ件数〕H28年度131件、29年度101件、30年度90件、R元年度144件、2年度179件	緊急時の対応の充実が図れた。	現状維持

【資料1】 令和3年度(2年度実績) やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	ク③ト・地域のサポートへの支援	116 SOSネットワーク事業の推進	総合福祉課(福祉)	実施	行政防災無線ややちよ情報メールの活用、各地域の包括支援センターに情報共有を行うことで、徘徊により行方不明となった高齢者等の早期発見・保護に努め、安全性の確保を図った。[利用件数] H28年度5件、29年度8件、30年度21件、R元年度32件、2年度32件	緊急時の対応として、行方不明者の早期発見・安全確保につながる支援が図れた。地域連携を図り、より広く情報を周知・収集していくことが課題である。	現状維持
取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 V みんなで推進する —推進体制の整備と協働の推進—							
1 連携・協働体制の構築							
(1) 市民参加の推進	推進 業①男女共同参画事業への市民参加の	117 市民参加の推進	タ 男女共同参画セン	実施	・第2次やちよ男女共同参画プラン策定年度であったことから、やちよ男女共同参画プラン懇話会を2回実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により1回は書面開催で意見聴取を行った。 ・支援団体と共催の公開講座は、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、連携して感染症対策に取組んで開催した。	市民参加の推進を図ることができた。	現状維持
	入の推進 策②男女共同参画施策への市民意見導	118 市民意見導入の推進	タ 男女共同参画セン	実施	・やちよ男女共同参画プラン懇話会において、男女共同参画に関わる施策の効果的な推進や、第2次やちよ男女共同参画プランの策定に対する様々な視点からの意見聴取を行った。 [委員数] 10人(市民委員5人、学識経験者5人) ・第2次やちよ男女共同参画プラン(素案)に対する、パブリックコメントを実施した。	新しいプランに、市民の多様な意見を反映させることができた。	積極的な推進
(2) 国・県・近隣自治体との連携・協力	推進 ①国・県・近隣自治体との連携した取組の	119 国・県・近隣自治体との連携	男女共同参画センター	実施	・新型コロナウイルス感染症の影響で「ちば男女共同参画行政担当者連絡会議」「男女共同参画センター等連絡会議」等が中止になったが、zoomやネット配信による各種会議に参加し情報収集を行った。 ・県男女共同参画地域推進員会議(千葉・葛南地域)に出席し、県や近隣自治体と協力して事業支援を行った。 ・他市で作成したパンフレットの利用許可を得て、チラシを作成し啓発を行った。	中止となる会議が多く、対面で情報交換をする機会は減ってしまったが、必要に応じて電話やメール等で情報交換や意見交換を行って事業の推進に生かすことができた。	現状維持
2 推進体制の強化							
(1) 男女共同参画センターの充実	と機能の充実 ①男女共同参画センターの周知	120 男女共同参画センターの周知と効果的な情報発信の実施	センタ 男女共同参画	実施	・講座のアーカイブなどを市ホームページに掲載し、新しい企画の「4コマまんが」「男女共同参画さんすうドリル」で周知を図った。 ・オンラインを使った情報提供について、情報収集を行った。	キャラクター等を活用した新しい企画により、男女共同参画についてわかりやすく周知することができた。	積極的な推進

【資料 1】 令和3年度(2 年度実績) やちよ男女共同参画プラン第 2 期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

(2) 庁内推進体制の整備・拡充	① 庁内組織の活用	121 庁内推進組織の活用	男女共同参画センター	実施	・ 庁内組織である「八千代市男女共同参画推進会議及び同会議幹事会」の委員・幹事及び関係課長からの意見照会を行い(各3回)、第2次やちよ男女共同参画プランの策定に組織的に取り組んだ。 ・ やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画の進捗状況について報告した。	第2次やちよ男女共同参画プランについて、庁内組織を活用して策定することができた。また、男女共同参画施策の進捗状況について、周知することができた。	積極的な推進
	② 市職員への研修機会の提供	122◆1 市職員への研修機会の提供 (1) 国・県等の講座, 研修等の情報提供	男女共同参画センター	未実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修・講座等が減少したことから情報提供が難しくなった。	コロナ禍による変化を捉え、状況を見ながら講座等の情報提供を行う。	未実施・休止・廃止
		122◆2 (2) 男女共同参画に関する研修の実施	職員課	実施	新規採用職員研修Ⅱの中で「男女共同参画に関する取組」の講義を行った。例年新規採用職員研修Ⅰ「地方公務員とは(服務)」においても、男女共同参画社会実現の重要性の周知と意識づけを図っているが、令和2年度は当該科目が中止となったため未実施。 〔男女共同参画に関する取組みの受講者数〕 H29 年度 38 人, 30 年度 30 人, R 元年度 27 人, 2 年度 28 人 〔地方公務員とは(服務)の受講者数〕 H29 年度 64 人, 30 年度 47 人, R 元年度 35 人, 2 年度未実施	職員を対象に、男女共同参画に関する取組みを理解するための研修を実施することで、男女平等意識の啓発が図れた。	現状維持
(3) 計画の進捗管理の充実	① 計画の進捗管理・評価・周知	123 計画の進捗管理・評価・周知	男女共同参画センター	実施	やちよ男女共同参画プランの進捗状況調査を行い、庁内組織や懇話会委員からの意見をまとめた。進捗状況については、市ホームページで公表した。	全体的に計画の推進を図ることができたが、経年によりプラン自体が現状と乖離してきている点がある。	現状維持